

TM-T20 Utility

ユーザーズマニュアル

概要

TM-T20 Utilityの特徴や動作環境、インストールおよびアンインストールについて説明します。

使い方

TM-T20 Utilityの使い方について説明します。

クーポン印刷

クーポン機能の使い方について説明します。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

EPSON®、ESC/POS® はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

MS-DOS®、Microsoft®、Win32®、Windows®、Windows Vista®、Windows Server® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

© セイコーエプソン株式会社 2010-2013

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

注意

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。

参考

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本書について

本書の目的

本書は、TM-T20 Utility の使用に必要な情報を提供することを目的としています。

本書の構成

本書は次のように構成されています。

第1章 [概要](#)

第2章 [使い方](#)

第3章 [クーポン印刷](#)

目次

■ 安全のために.....	3
記号の意味.....	3
■ 使用制限	3
■ 本書について.....	3
本書の目的.....	3
本書の構成.....	3
■ 目次	4

概要..... 7

■ 概要	7
■ サポート OS.....	7
■ インストール.....	8
■ アンインストール.....	8
■ OS による違い.....	9

使い方..... 11

■ TM-T20 Utility の起動	11
TM-T20 Utility を起動する.....	11
通信ポートを追加して TM-T20 Utility を起動する.....	13
■ 現在の設定.....	16
■ 動作テスト	18
■ 電子ジャーナル.....	19
電子ジャーナルの設定.....	19
電子ジャーナルの確認.....	20
■ ロゴの登録.....	22
ロゴの書き込み.....	24
■ 用紙節約の設定	28
■ 自動用紙カットの設定.....	30
■ 印刷制御の設定	32
■ フォントの設定.....	33
■ 外付けオプションブザー設定	34
■ 通信 I/F の設定.....	36
■ 設定の保存と復元.....	38
プリンターの設定をファイルに保存する.....	38
設定をプリンターに復元する.....	39

クーポン印刷	41
■ 概要	41
印刷の仕組み.....	41
クーポン印刷の方法.....	42
オート カット 時のロゴ印刷.....	44
クーポンデータ形式.....	44
環境.....	45
■ セットアップ	46
プリンタードライバーで印刷するアプリケーションの場合.....	46
ESC/POS コマンドで印刷するアプリケーションの場合.....	46
■ クーポンの設定	50
クーポンの登録.....	51
クーポンの印刷方法の設定.....	55
クーポン印刷の設定.....	57
印刷順番の指定.....	58
印刷頻度の指定.....	59
■ Coupon Generator でクーポンを登録	60
■ クーポンの印刷	62
ポップアップ選択で印刷する場合.....	62
印刷結果の確認.....	64
■ FAQ	65
■ Acknowledgements	67



概要

本章では、TM-T20 Utility の仕様について説明しています。

概要

「TM-T20 Utility」は、TM-T20 のパラメーターを確認し、設定する、TM-T20 専用のユーティリティです。以下の機能があります。

- 一般ユーザー向けの設定
 - 動作テスト (18 ページ)
 - 電子ジャーナル *1 *3 (19 ページ)
 - ログの登録 (22 ページ)
 - クーボンの設定 *1 *3 (クーポンの設定は 3 章を参照してください)
 - 用紙節約の設定 *2 (28 ページ)
 - 自動用紙カット、カット後のロゴ印刷の設定 *2 (30 ページ)
- プリンター管理者向けの設定
 - 印刷制御の設定 (32 ページ)
 - フォントの設定 (33 ページ)
 - 外付けオプションブザー設定 (34 ページ)
 - 通信 I/F の設定 (36 ページ)
 - 設定の保存と復元 (38 ページ)

*1 Windows 2000 では、使用できません。

*2 プリンターのバージョンにより使用できないため、表示されない場合があります。

*3 クーボン対応のドライバーがインストールされていない場合は、利用できません。

サポート OS

- Windows 8 (32 bit/64 bit)
- Windows 7 SP1 (32 bit/64 bit)
- Windows Vista SP2 (32 bit/64 bit)
- Windows XP SP3 (32 bit)
- Windows 2000 SP4 *
- Windows Server 2012 (64 bit)
- Windows Server 2008 R2 SP1
- Windows Server 2008 SP2 (32 bit/64 bit)
- Windows Embedded for Point of Service
- Windows Embedded POSReady 2009

* Windows 2000 では、TM-T20 Utility は USB プリンタークラスの TM-T20 をサポートしていません。TM-T20 をベンダークラスにしてご利用ください。

インストール

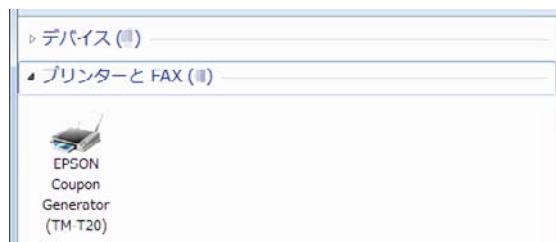
TM-T20Utility***.exe を実行してください。

注意

Administrator 権限でインストールしてください。

お客様が画像編集アプリケーションで作成したクーポンを、EPSON Coupon Generator で登録する場合は、“セットアップタイプ”画面で、“EPSON Coupon Generator”をチェックして、インストールしてください。

Coupon Generator をインストールすると、[デバイスとプリンター]に EPSON Coupon Generator (TM-T20) が追加されます。



アンインストール

以下の手順でアンインストールしてください。

- 1 コンピューターで行っている、他のすべての作業を終了します。
- 2 [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール] を選択します。
- 3 「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。[EPSON TM-T20 Utility Ver.x.x] をダブルクリックします。
- 4 アンインストール確認画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックします。アンインストールされます。
- 5 “アンインストール完了”画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックします。
- 6 Coupon Package をアンインストールします。
「プログラムのアンインストールまたは変更」画面を表示します。[EPSON TM Coupon Package] をダブルクリックします。
- 7 アンインストール確認画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックします。アンインストールされます。
- 8 “アンインストール完了”画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックします。

OSによる違い

本書では OS によって記載内容が異なる場合があります。以下を参照してください。

項目	説明
画面の説明	本書では Windows 7 の画面で説明をしています。 他の OS をご使用の場合は、読み換えてお使いください。
アンインストール	Windows 8 (デスクトップ) - サイドバー(設定) - (コントロールパネル) - (プログラムのアンインストール) Windows 7 (スタート) - (コントロールパネル) - (プログラムのアンインストール) Windows Vista (スタート) - (コントロールパネル) - (プログラムのアンインストール) Windows XP (スタート) - (コントロールパネル) - (プログラムの追加と削除) Windows 2000 (スタート) - (設定) - (コントロールパネル) - (アプリケーションの追加と削除)



使い方

本章では、TM-T20 Utility の使い方について説明しています。

注意

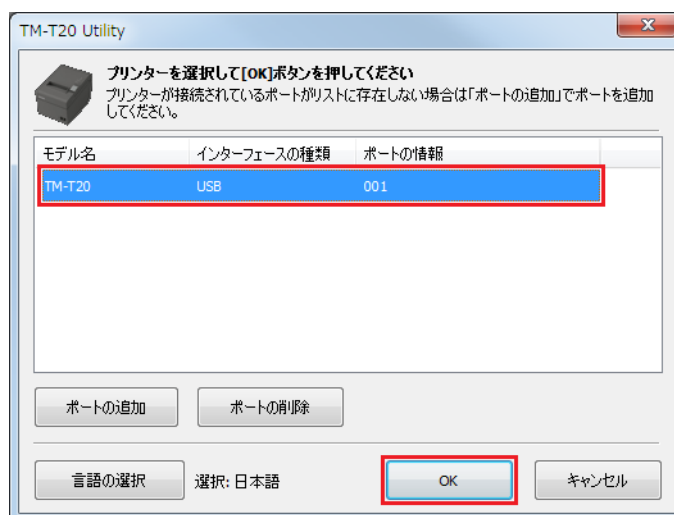
設定の保存中は、プリンターの電源をオフしたり、接続を切断したりしないでください。

TM-T20 Utility の起動

TM-T20 Utility を起動する

以下の手順で、TM-T20 Utility を起動します。

- 1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-T20 Software] - [TM-T20 Utility] を選択します。
- 2 以下の画面が表示されます。TM-T20 Utility を使用したいプリンターを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
表示する言語を変更したい場合、[言語の選択] ボタンをクリックします。プリンターが表示されない場合は、[ポートの追加] ボタンをクリックします。プリンターが表示されない場合は、[ポートの追加] ボタンをクリックします。“ポートの追加”へ進みます。



参考

- [ポートの追加] ボタンは、専用ポートを追加します。(13 ページの「通信ポートを追加して TM-T20 Utility を起動する」を参照)
- ポートを選択し、[ポートの削除] ボタンをクリックすると、選択した通信ポートが削除されます。

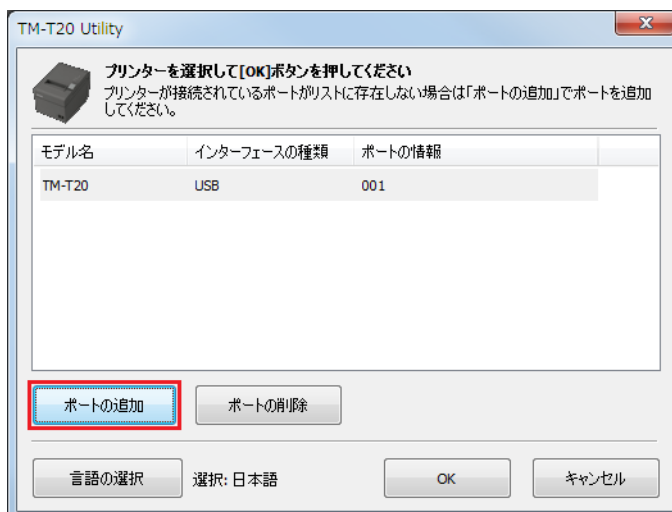
- 3** TM-T20 Utility が起動します。“現在の設定”画面に取得した値が表示されます。USB 接続の場合、接続したプリンターを識別するには、TM-T20 Utility を起動後に テスト印刷 するか、プリンター側面の シリアル番号 と TM-T20 Utility のシリアル番号を確認してください。初めて TM-T20 Utility を実行した時は、プリンターと通信できないと起動しません。ただし、一度通信を確立した場合は、プリンターがオフラインの場合でも前回のプリンターの設定情報を元に起動します



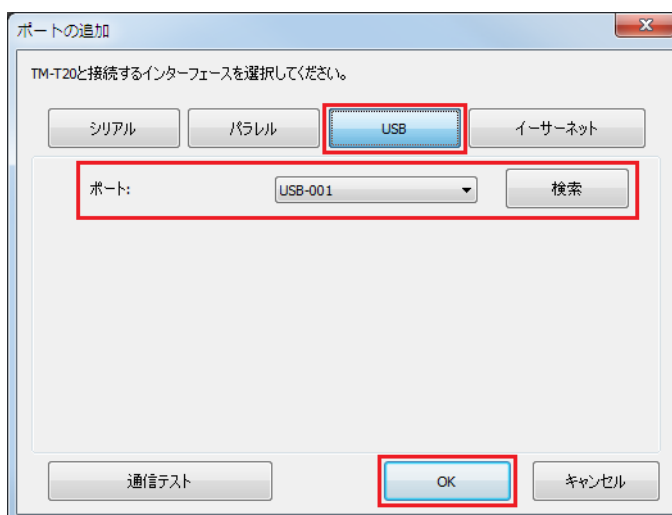
通信ポートを追加して TM-T20 Utility を起動する

以下の手順で、通信ポートを追加します。

- 1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-T20 Software] - [TM-T20 Utility] を選択します。
- 2 以下の画面が表示されます。[ポートの追加] ボタンをクリックします。



- 3 [ポートの追加] 画面が表示されます。追加するポートの設定をします。設定後、[OK] ボタンをクリックします。



参考

- ポートが通信できない場合、エラーメッセージが表示されます。その場合、ポートは追加できません。プリンターの接続や、通信設定を確認してください。
- [通信テスト] はテスト印刷ではなく、通信結果を画面に表示します。



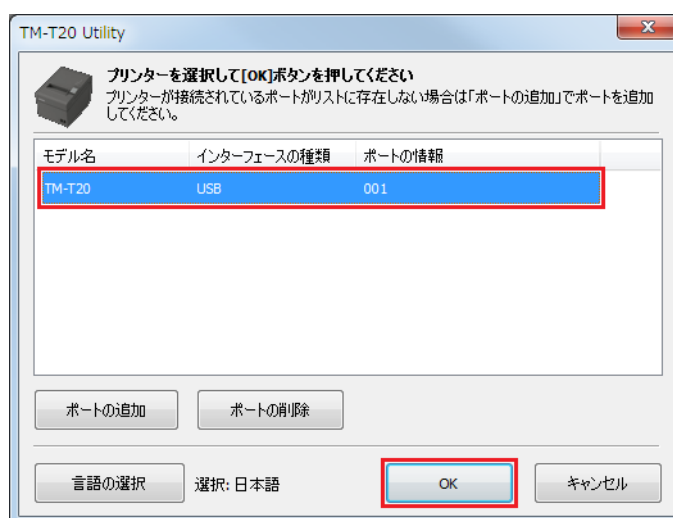
□ USB

設定	説明
ポート	使用する USB ポートを選択します。
検索	通信可能な USB ポートを検索します。
通信テスト	通信テストをします。

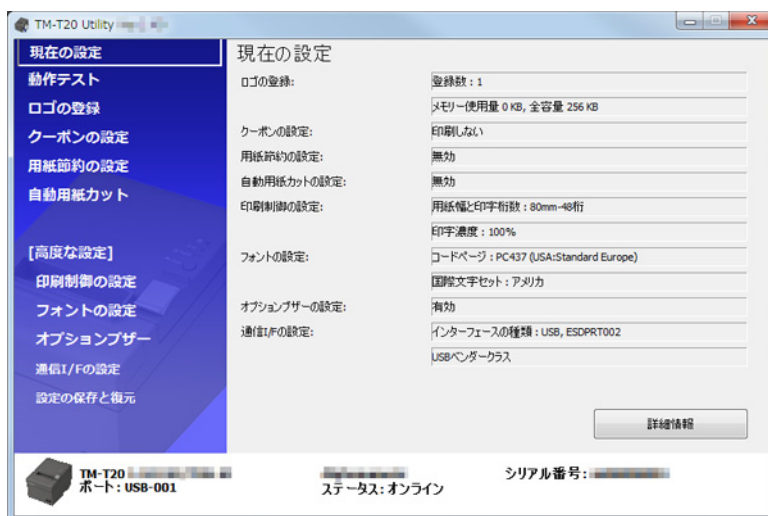
参考

USB 接続の場合、プリンタークラスとベンダークラスのプリンターが混在する環境では、プリンターを追加できないことがあります。この場合は、既にコンピューターに接続されているプリンターの電源をオフしてから、本ユーティリティを起動してください。

4 以下の画面に戻ります。追加したポートを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



5 TM-T20 Utility が起動します。



現在の設定

プリンターの設定状態の確認や、メンテナンスカウンターを確認します。

現在の設定	
ロゴの登録:	登録数: 1
	メモリー使用量 0 KB, 全容量 256 KB
クーポンの設定:	印刷しない
用紙節約の設定:	無効
自動用紙カットの設定:	無効
印刷制御の設定:	用紙幅と印字行数: 80mm-48行
	印字濃度: 100%
フォントの設定:	コードページ: PC437 (USA:Standard Europe)
	国際文字セット: アメリカ
オプションブザーの設定:	有効
通信I/Fの設定:	インターフェースの種類: USB, ESDPRT002
	USBベンダークラス

[詳細情報](#)

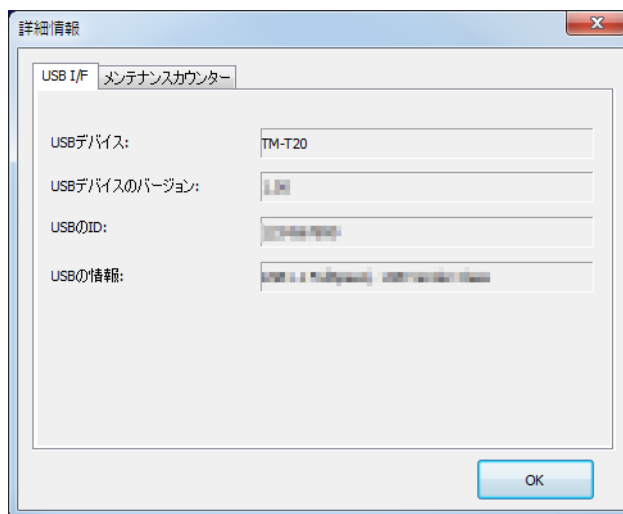
項目	説明
ロゴの登録	登録されているロゴの数と、メモリの使用量および全体量が表示されます。
クーポンの設定 *1	クーポンの設定が表示されます。
用紙節約の設定 *2	用紙節約の設定が表示されます。
自動用紙カットの設定	オートカットについての設定が表示されます。
印刷制御の設定	用紙幅と印刷濃度が表示されます。
フォントの設定	デバイスフォントのコードページと国際文字セットが表示されます。
オプションブザーの設定	ブザーの設定が表示されます。
通信 I/F の設定	ポートの通信設定が表示されます。
詳細情報	インターフェイス、メンテナンスカウンター、ディップスイッチの情報が表示されます。(17 ページ「詳細情報」)

*1 クーポン対応のプリンタードライバーまたは、Virtual Port Driver.Ver.8 以降がインストールされていない場合は、表示されません。

*2 プリンターのバージョンにより使用できないため、表示されない場合があります。

詳細情報

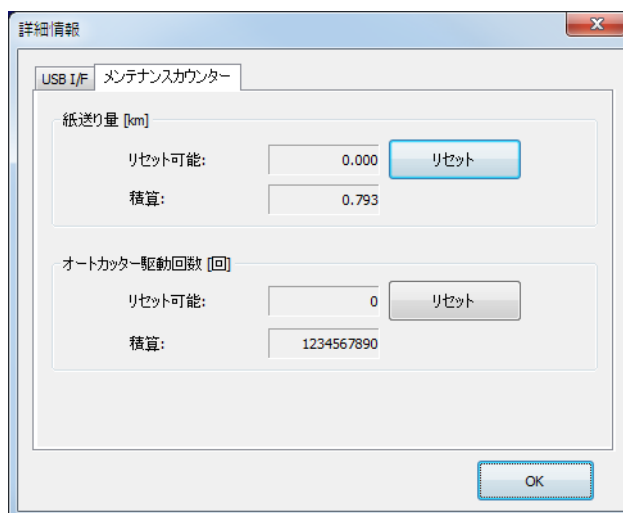
インターフェイスの情報



□ USB I/F

項目	説明
USB デバイス	製品名が表示されます。
USB デバイスバージョン	製品のバージョン情報が表示されます。
USB ID	シリアルナンバーが表示されます。
USB 情報	インターフェイスに設定されている識別文字列が表示されます。

メンテナンスカウンター



以下のカウンター情報の確認と、リセット可能なメンテナンスカウンターは、[リセット]ボタンでリセットできます。積算表示はリセットできません。

- 紙送り量 [km]
- オートカッター駆動回数 [回]

動作テスト

プリンターが正常に動作するか、プリンターとドライバーが正常に通信されているか確認します。
以下の手順で行います。

- 1 [動作テスト] をクリックします。
- 2 動作確認したい項目のボタンをクリックします。

動作テスト

単体テスト

通信テスト テスト印刷

ロゴ印刷 フォント印刷

ドロアーを開く ブザーテスト

ドライバーテスト

テストするドライバーの選択: EPSON TM-T20 Receipt

テスト印刷

電子ジャーナル

電子ジャーナルを有効にする 表示

動作確認する項目は以下のとおりです。

□ 単体テスト

項目	説明
通信テスト	コンピューターとプリンターの通信が正常化確認します。
テスト印刷	テスト印刷します。正常に印刷されるか確認します。
ロゴ印刷	プリンターに登録されているすべてのロゴを印刷します。
フォント印刷	プリンターに搭載されているフォントを印刷します。
ドロワーを開く	プリンターに接続されている、ドロアーを開けます。
ブザーテスト	プリンターに接続されているブザーを鳴らします。

□ ドライバーテスト

項目	説明
テストするドライバーの選択	動作確認するプリンタードライバーを選択します。
テスト印刷	テスト印刷します。正常に印刷される確認します。

参考

Windows 2000 の場合、テスト印刷はできません。

□ 電子ジャーナル

項目	説明
電子ジャーナルを有効にする	電子ジャーナルの有効 / 無効を設定します。
表示	電子ジャーナル画面を表示します。

電子ジャーナル

電子ジャーナルは、印刷したデータを画像ファイルで保管する機能です。クーポンを設定した場合、クーポンも表示します。

電子ジャーナルの設定

以下の手順で電子ジャーナルを設定します。

- 1 [動作テスト] をクリックします。
- 2 [電子ジャーナルを有効にする] をチェックします。

動作テスト

単体テスト

通信テスト	テスト印刷
ロゴ印刷	フォント印刷
ドロアーを開く	プザーテスト

ドライバーテスト

テストするドライバーの選択: EPSON TM-T20 Receipt

テスト印刷

電子ジャーナル

電子ジャーナルを有効にする

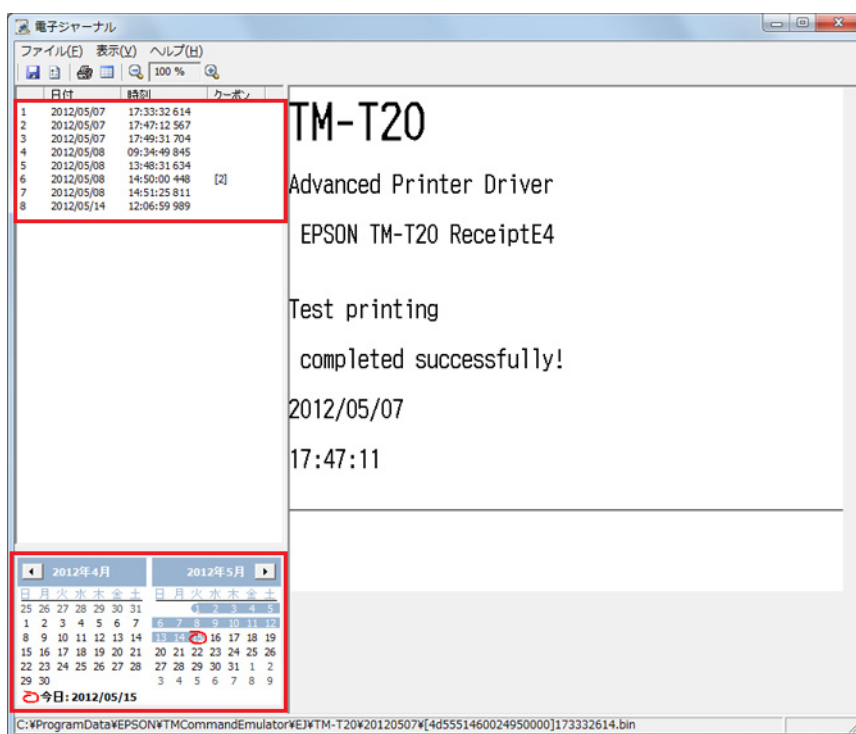
表示

2

電子ジャーナルの確認

[電子ジャーナルを有効にする]をチェックし、[表示] ボタンをクリックすると電子ジャーナル画面が表示されます。確認したい期間をカレンダーからドラッグして選択し、リストから印刷データをクリックします。右側に印刷したデータの画像ファイルが表示されます。

週単位の表示など、月をまたいで選択する場合、表示枠をドラッグして広げると、2 か月のカレンダーが表示されて選択できるようになります。



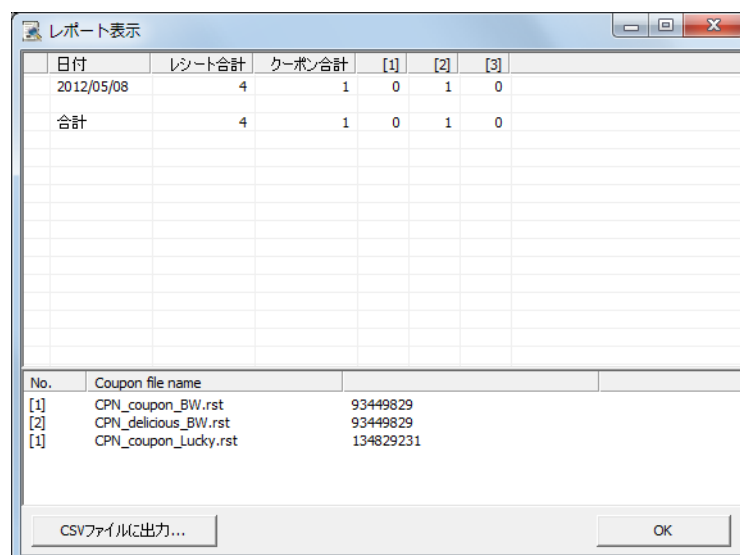
項目		説明
ファイル	テキスト ファイルに出力	選択した印刷データを、テキスト ファイルに出力します。 (グラフィックで印刷された場合は、テキスト 出力されません。)
	ビット マップファイルに出力	選択した印刷データを、ビット マップファイルに出力します。
	印刷	選択した印刷データを、プリンターで印刷します。
	終了	電子ジャー ナルを終了します。
表示	表示を更新	表示を更新します。
	Language	言語を切り替えます。
	オプション設定	プリンターの設定値を読み込み、画面に表示するイメージを実際に印刷したイメージにあわせます。
	レポート表示	日ごとのレシートの発行枚数、クーポンの発行枚数を集計できます。 (21 ページ「レポート表示」)
ヘルプ	バージョン情報	電子ジャー ナルのバージョンを表示します。

レポート表示

確認したい期間を選択し、[表示] - [レポート表示] を選択すると、以下の画面が表示されます。

1日ごとの印刷状況や、クーポン発行状況を知ることができます。

[CSVファイルに出力] ボタンをクリックすると、レポートの内容を CSV ファイルで保存することができます。



日付	レシート合計	クーポン合計	[1]	[2]	[3]
2012/05/08	4	1	0	1	0
合計	4	1	0	1	0

No.	Coupon file name	
[1]	CPN_coupon_BW.rst	93449829
[2]	CPN_delicious_BW.rst	93449829
[1]	CPN_coupon_Lucky.rst	134829231

CSVファイルに出力... OK

ロゴの登録

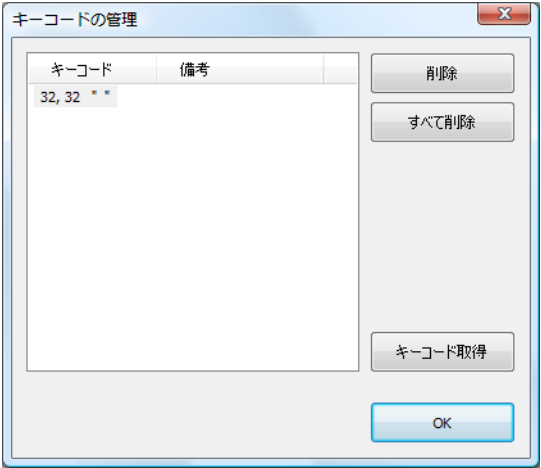
プリンターに書き込むロゴの設定をします。

ここでは、プリンターに登録するロゴの設定をします。プリンターに登録されているロゴを印刷したり、削除したりすることはできますが、それを編集したり、再登録 / ファイル形式で保存することはできません。



[ロゴの登録]には、以下の機能があります。

設定	説明
キーコードリスト	プリンターに登録されているロゴと、プリンターに追加するロゴを表示します。 プリンターに登録されているロゴは、キーコードの先頭に●が付きます。
追加	ロゴデータを追加します。
編集	ロゴデータのハーフトーンや明るさを編集します。
削除	ロゴを削除します。
テスト印刷	選択したロゴを印刷します。
モード変更	ロゴの設定モードを変更します。現在の設定は、[ロゴの登録]の下に表示されます。 <div data-bbox="715 1451 1337 1944" data-label="Image"> </div>
開始キーコード指定モード	ロゴ管理用の識別コードを指定します。

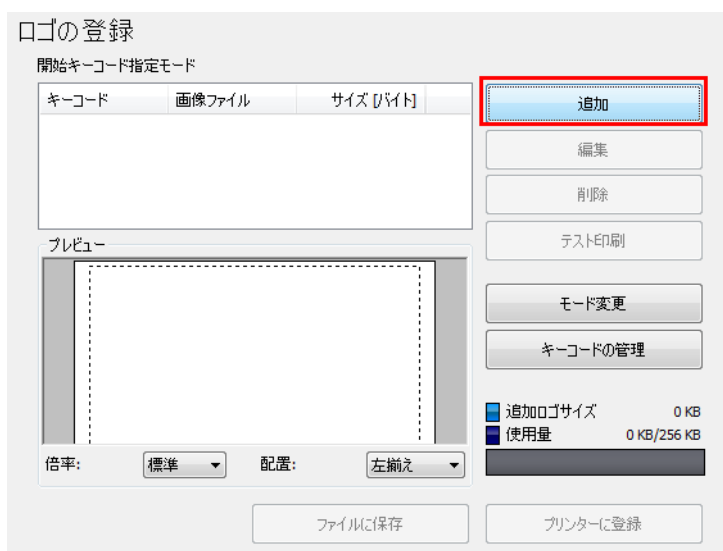
設定		説明
	登録するロゴにキーコードを自動的に設定する。	チェックすると、登録するロゴにキーコードを自動的に設定します。チェックを外すと、ロゴを追加または編集する時にキーコードを設定します。
	Advanced Printer Driver コントロールフォント 設定モード	Advanced Printer Driver の場合、キーコードの代わりに、control フォント (h ~ l) で管理します。
	キーコード未使用モード (非推奨)	
キーコードの管理		プリンターに書き込まれているロゴのキーコードの確認や、ロゴを削除します。 
	キーコード取得	登録されているキーコードの番号を取得します。
プレビュー		プリンターに登録するロゴのイメージが表示されます。登録済みのロゴのイメージは表示されません。
ロゴインジケータ		インジケータ：プリンターのロゴ登録可能メモリサイズ 追加ロゴサイズ：リストに表示されているロゴの容量 使用量：登録済みロゴ容量
ファイルに保存		設定したロゴデータをプリンターに登録するための、ファイルとして保存します。また、データを BMP ファイルで保存することもできます。
プリンターに登録		設定したロゴデータをプリンターに書き込みます。

ロゴの書き込み

複数のロゴを登録する場合、まとめて一度にプリンターに書き込みすることをお勧めします。登録したロゴをプリンター設定ファイルに保存する場合、[38 ページ「設定の保存と復元」](#)を参照してください。

ロゴの書き込みは、以下の手順で行います。

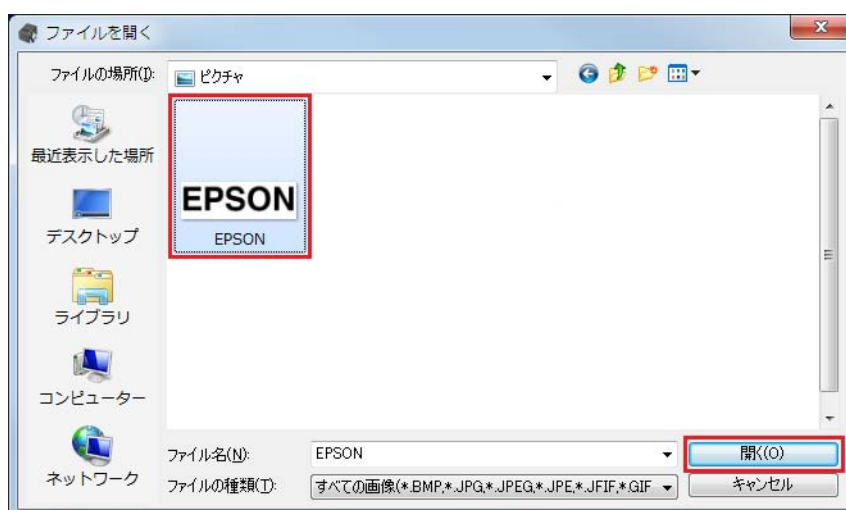
1 [追加] をクリックします。



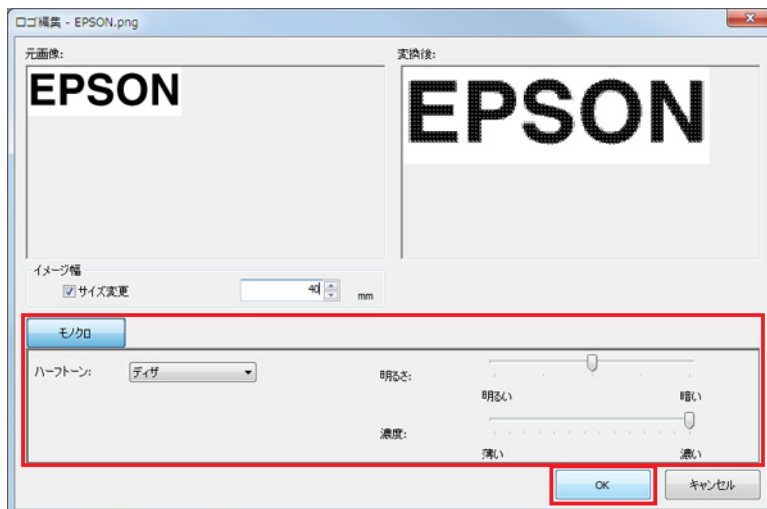
2 ロゴにするイメージデータを指定します。

指定可能なファイルサイズは、幅 2047 × 高 831 ピクセル (ドット) 以下の bmp, jpeg, gif, png ファイルです。ロゴの幅が用紙幅を超える場合は警告メッセージを表示します。[OK] ボタンをクリックし、ステップ 3 の [ロゴ編集] 画面で縮小してください。

用紙幅 - 桁数	ピクセル
80mm - 48 桁	576
80mm - 42 桁	546
58mm - 42 桁	378
58mm - 35 桁	420



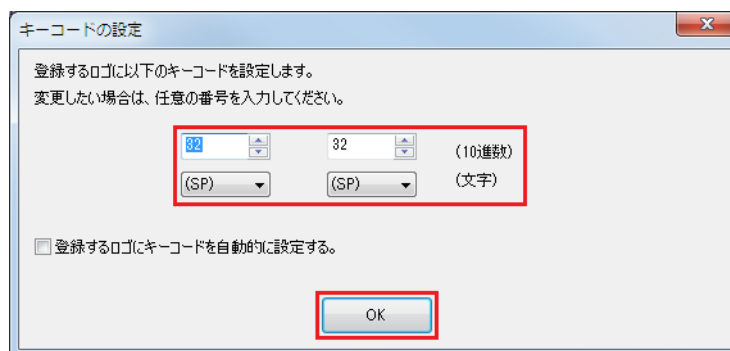
- 3 [ロゴ編集]画面が表示されます。画面上部のプレビューを参照して、ロゴ用のイメージデータを編集します。編集が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。



以下を設定します。

項目	説明
サイズ変更	サイズの変更の有 / 無を設定します。 画像サイズが用紙幅より大きく、サイズを変更しない場合、用紙幅を超える部分は印刷されず切れてしまいます。
幅	リサイズ後の画像サイズを設定します。(設定値は mm です。)
ハーフトーン	ハーフトーンの種類を、[ディザ] / [誤差拡散] / [なし] から選択します
明るさ	明るさを設定します。
濃度	印刷の濃度を設定します。

- 4 ロゴ登録モードが [開始キーコード指定モード] で、[登録するロゴにキーコードを自動的に設定する] にチェックされていない場合、“キーコードの設定”画面が表示されます。キーコードを設定し、[OK] ボタンをクリックします。
[開始キーコード指定モード] 以外のロゴ登録モードや、[登録するロゴにキーコードを自動的に設定する] がチェックされている場合、“キーコードの設定”画面は表示されません。



- 5 リストにロゴデータが追加されます。複数のロゴデータを登録する場合、手順 1 ～ 4 を繰り返します。
- 6 プリンターに書き込むロゴデータをすべて登録後、画面右のインジケータでプリンターに書き込み可能なサイズが確認し、[プリンターに登録] ボタンをクリックします。



- 7 ロゴデータがプリンターに書き込まれます。また、ロゴデータはロゴ登録ファイル (TLG ファイル) にも保存されます。このファイルは、プリンター設定ファイルを作成する際に使用します。



ロゴ登録ファイルについて

ロゴ登録ファイル（TLG ファイル）は、ロゴをプリンターに書き込み時に自動的に保存されます。そのため、プリンター設定ファイルには、最後にプリンターに書き込みしたロゴのデータしか保存されません。複数のロゴデータをプリンター設定ファイルに保存したい場合、すべてのロゴデータを一度でプリンターに書き込みしてください。既にプリンターに登録済みのデータを保存するには、以下の手順を実施してください。

- 1 プリンターに書き込むロゴデータをすべて用意します。
- 2 プリンターに登録済みのロゴをすべて削除します。
[22 ページ「ロゴの登録」](#)を参照してください。
- 3 全てのロゴを登録し、プリンターに一度で書き込みます。この手順により、すべてのロゴデータを含むロゴ登録ファイル（TLG ファイル）が作成されます。
[24 ページ「ロゴの書き込み」](#)を参照してください。

用紙節約の設定

注意

プリンターのバージョンにより使用できないため、表示されない場合があります。
 ロゴ、クーポン等のイメージ印刷やページモード印刷の場合、用紙節約を設定しても用紙を節約できないことがあります。印刷方法ごとの節約できない条件は以下のとおりです。

- Windows プリンタードライバー：「すべての文書を画像イメージとして印刷」が [はい] となる印刷。回転印刷、バーコードの回転など。*
- UPOS：ページモード印刷、回転印刷、ビットマップ / バーコード / 文字を横にならべて印刷するなど。
- ESC/POS コマンド：ロゴやクーポン等のイメージ印刷、ページモード印刷、回転印刷など。

* プリンタードライバーには、印刷データの上下の余白を用紙節約する機能がありますのでそちらをお使いください。詳細はプリンタードライバーのマニュアルを参考にしてください。

用紙節約の設定をします。以下の手順で行います。

- 1 [用紙節約の設定] をクリックします。
- 2 画面の右側に表示されるプレビューを参照して設定します。



参考

Advanced Printer Driver がグラフィックモードの場合、[上余白の削減] と [下余白の削減] 以外の設定は無効になります。

項目	機能
上余白の削減	上余白の節約の有無を選択します。(削減する)にすると、印刷開始から最初の印刷データまでの余白をカットします。
下余白の削減	下余白の節約の有無を選択します。(削減する)にすると、最終印字行からオートカットまでの余白をカットします。
行間の削減率	印刷行の、紙送り量の縮小率を選択します。最低 2 ドット紙送りします。縮小により、行間が 2 ドット未満になる場合、行間を 2 ドットにします。
改行の削減率	空白行の紙送り量の縮小率を選択します。上余白節約で削除された行は対象外です。改行のみで紙送りしてマニュアルカットする場合、この設定で Feed 量が縮小されて、最終印刷行がカット位置まで紙送りされないことがあります。

項目	機能
バーコード高さの削減率	バーコードエレメントの高さの縮小率を選択します。バーコードの高さが30ドット以下には縮小しません。 この設定により、バーコードサイズの規格を満たさなくなることがあります。

- 3** [設定] ボタンをクリックします。設定がプリンターに反映されます。

自動用紙カット の設定

注意

ここでロゴを設定すると、クーポンを印刷する場合にもロゴを印刷します。クーポンにロゴを印刷しない場合は、クーポン印刷のオートカット時のロゴ印刷を設定します。(44 ページ「オートカット時のロゴ印刷」を参照)

カバーを閉めたときの、オートカットやオートカット時のロゴ印刷の設定をします。

以下の手順で行います。

- 1 [自動用紙カット] をクリックします。
- 2 確認したい項目を選択します。

自動用紙カットの設定

- この機能を使用しない
- カバークローズ時に用紙を自動カットする
- 用紙カット時にロゴを印刷する

設定

項目	説明
この機能を使用しない	ここで設定できるオートカットの機能を無効にします。手順4に進んでください。
カバークローズ時に用紙を自動カットする	カバーを閉めたときに、オートカットします。手順4に進んでください。
用紙カット時にロゴを印刷する	オートカット時にロゴを印刷します。手順3に進んでください。

3 [用紙カット時にロゴを印刷する]を設定します。

自動用紙カットの設定

この機能を使用しない
 カバークローズ時に用紙を自動カットする
 用紙カット時にロゴを印刷する

	キーコード	配置
トップロゴ:	32 32	中央揃え
ボトムロゴ:	なし	左揃え

条件

コマンドによる用紙カット時
 カバークローズ時
 電源ON時

上余白の削減
 ロゴの途中(上から13mm)に白筋が入る場合があります。テスト印刷をして確認ください

設定

項目	説明
トップロゴ	用紙の最初に印刷するロゴを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> キーコード： 印刷するロゴのキーコードを選択します。 配置： ロゴの印刷位置を設定します。
ボトムロゴ	用紙の最後に印刷するロゴを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> キーコード： 印刷するロゴのキーコードを選択します。 配置： ロゴの印刷位置を設定します。
条件	ロゴ印字の動作条件を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> コマンドによる用紙カット時： 本項目のチェックははずせません。 カバークローズ時： カバークローズ時にトップロゴ印刷するか設定します。 電源ON時： この設定にすると、プリンターの設定を変更するたびに、プリンターがリセットされ、用紙をオートカットしてトップロゴが印刷されます。
上余白の削除	[トップロゴ]の設定で印刷されるロゴの、丈夫の上余白を節約できます。[トップロゴ]設定した場合のみ設定可能です。[トップロゴ]の途中(上端から13mm)に白筋が入る場合があります。そのため、お客様の使用環境で印字結果をご確認の上でお使いください。

注意

プリンターのバージョンにより使用できないため、[上余白の削除]が表示されない場合があります。

4 [設定]ボタンをクリックします。設定がプリンターに反映されます。

印刷制御の設定

プリンターに印刷制御の設定をします。以下の手順で行います。

- 1 [印刷制御の設定] をクリックします。
- 2 以下の印刷制御を設定します。

印刷制御の設定

用紙幅-桁数: 80mm-48桁

ロゴ登録180dpiサイズ互換モード: 無効

印字濃度: 100%

印字速度: レベル13 (速い)

設定

項目	説明
用紙幅 - 桁数	プリンターの用紙幅を選択します。
ロゴ登録 180dpi サイズ互換モード	ロゴ登録 180dpi サイズ互換モードの、有効 / 無効を選択します。 [ロゴ登録 180dpi サイズ互換モード] は、180dpi のプリンター用に作成したロゴを、TM-T20 でも同じ位置 / サイズで印字したい場合に使用する機能です。 ただし、[ロゴの登録] (22 ページ) では、ロゴの追加 / 編集する際にサイズを自由に調整できます。従って、ロゴのサイズ調整は、[ロゴの登録] で行うことをお勧めします。
印字濃度	プリンターの印字濃度を選択します。
印字速度	プリンターの印刷速度を選択します。

注意

- 用紙幅を変更する場合
 - * 用紙幅を 80mm から 58mm に変更した場合、プリンターにロール紙ガイドを取り付けてください。
 - * 用紙幅を 58mm から 80mm に変更した場合、正しく印刷されないことがあるので、印刷結果を確認してからご使用ください。

参考

- プリンタードライバーと設定が重なる場合、プリンタードライバーの設定が優先されます。プリンタードライバーの設定が優先される項目：
- * 用紙幅
 - * 印字濃度
 - * 印字速度

- 3 [設定] ボタンをクリックします。設定がプリンターに反映されます。

フォントの設定

デバイスフォントや国際文字セットの設定をします。以下の手順で行います。

参考

- Advanced Printer Driver Ver4. xx の場合、[コードページ]と[国際文字セット]の設定は無効です。
- OPOS ADK の場合、OPOS 側で設定したコードページが有効になります。

1 [フォントの設定]をクリックします。

2 以下を設定します。

項目	説明
コードページ	デバイスフォントのコードページを選択します。
国際文字セット	国際文字セットを選択します。

3 [設定] ボタンをクリックします。設定がプリンターに反映されます。
[テスト印刷] ボタンをクリックすると、設定されたデバイスフォントのフォントパターンが印刷されます。

外付けオプションブザー設定

オプションブザー使用の有無や、音色などを設定をします。以下の手順で行います。

- 1 [オプションブザー] をクリックします。
- 2 外付けブザー使用の有無を設定します。



項目	説明
ブザーを使用しない	外付けオプションブザーを使用しません。手順 4 へ進んでください。
ブザーを使用する	外付けオプションブザーを使用します。手順 3 へ進んでください。

3 外付けブザーの音色と鳴らすタイミングを設定します。

外付けオプションブザー設定

ブザーを使用しない
 ブザーを使用する

エラー発生時: 鳴らし続ける ▼

オートカット駆動時: パターンA ▼ 再生

指定パルス1 (2 pin) 発生時: パターンA ▼ 再生

指定パルス2 (5 pin) 発生時: パターンB ▼ 再生

設定

項目	説明
エラー発生時	エラー発生時のブザーの設定をします。 [鳴らさない] / [1回] / [鳴らし続ける] から選択します。
オートカット駆動時	オートカット発生時のブザーの設定をします。 [鳴らさない] / [パターンA～E] から選択します。
指定パルス (2pin) 発生時	指定パルス発生時のブザーの設定をします。 [鳴らさない] / [パターンA～E] から選択します。
指定パルス (5pin) 発生時	指定パルス発生時のブザーの設定をします。 [鳴らさない] / [パターンA～E] から選択します。
ブザーテスト	ブザーテストをします。 ブザーパターンを指定して、[再生] ボタンをクリックします。

4 [設定] ボタンをクリックします。設定がプリンターに反映されます。

通信 I/F の設定

プリンターの通信設定を設定します。このユーティリティでは、コンピューター側のポート設定は行いません。そのため、プリンターの設定をすると、プリンターと通信できなくなることがあります。その場合、プリンタードライバーなどコンピューター側の設定をプリンターの設定に合わせてください。以下の手順で行います。

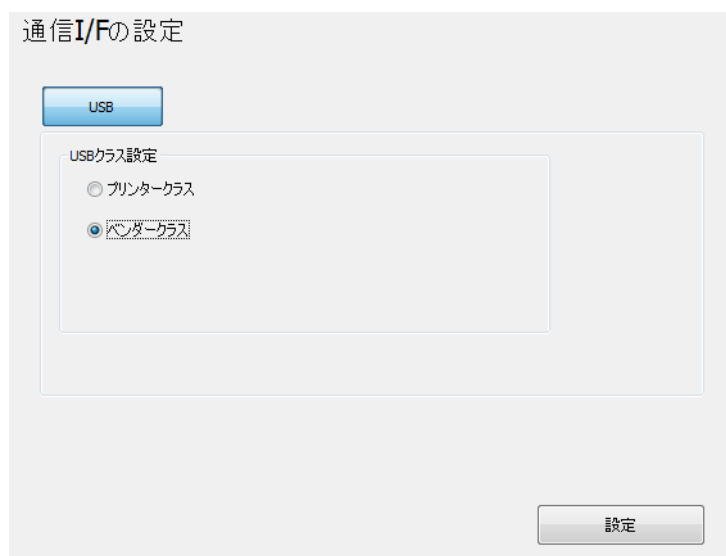
- 1 [通信 I/F の設定] をクリックします。プリンターのインターフェイスを自動識別して、通信設定画面が表示されます。
- 2 通信設定をします。詳細は [36 ページ「USB」](#) を参照してください。
- 3 [設定] ボタンをクリックします。設定がプリンターに反映されます。

USB

USB クラスを設定します。

参考

- UPOS はベンダークラスでお使いください。
- プリンタークラスで使う必要のない場合は、ベンダークラスで使うことを推奨します。



項目	説明
プリンタークラス	プリンターをプリンタークラスに設定します。
ベンダークラス (初期値)	プリンターをベンダークラスに設定します。

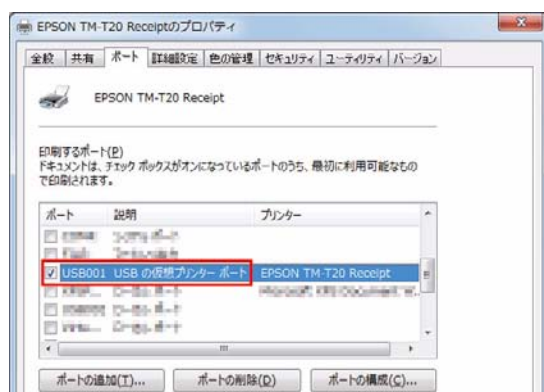
USB クラスをベンダークラスからプリンタークラスに設定すると、プリンターはプリンタークラスになります。また、コンピューターは新しいプリンタークラスのプリンターを検出して、新しいキューが生成されます。この場合、既存のキューからは印刷および StatusAPI を使用できますが、新しいキューからは印刷できませんが StatusAPI を使用できません。新しいキューは削除しても構いません。

StatusAPI を使用できるキューの見分け方

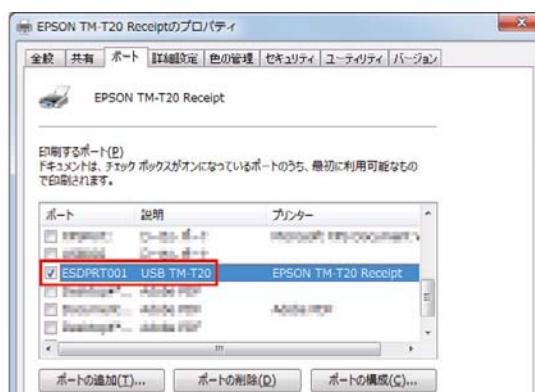
キューの [プロパティ]-[ポート] から、“ポート” と “説明” を確認してください。

- プリンタークラス
 - ポート： USBxxx
 - 説明： USB の仮想プリンターポート
- ヘンダークラス
 - ポート： ESDPRTxxx
 - 説明： USB TM-T20

プリンタークラス



ヘンダークラス



設定の保存と復元

注意

- Advanced Printer Driver、OPOS、OPOS for .NET がインストールされていない環境の場合、“自動復元の設定”の機能は使用できません。
- クーポン設定は、保存したり復元できません。クーポン設定を他のプリンターにコピーしたい場合は、66 ページ「クーポン設定を他のコンピューターにコピーしたい」を参照してください。

プリンターに設定されたデータをバックアップしたり、設定をプリンターに復元したりします。

プリンターの設定をファイルに保存する

- 1 [設定の保存と復元] をクリックします。
- 2 [オプション]の中から、保存するデータをチェックします。

設定の保存と復元

保存

オプション

- 登録済みロゴデータ
- プリンターの設定値

保存

復元

ファイル名:

参照

説明

復元

自動復元の設定

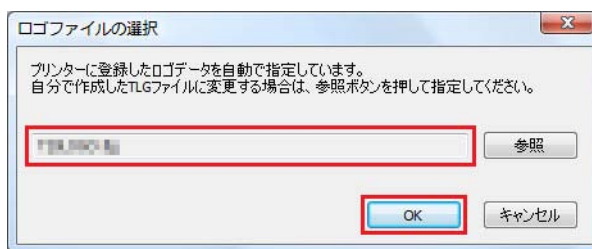
- 新しいプリンターに置き換わったときに、復元を自動で実行する
- 自動復元を実行する前に確認メッセージを表示する
- 実行結果を表示する

項目	説明
登録済みロゴデータ	プリンターに登録したロゴデータを保存します。ここでは、プリンターからデータを取得するのではなく、ロゴ登録ファイル (TLG ファイル) のデータを保存します。詳細は 27 ページ「ロゴ登録ファイルについて」を参照してください。
プリンターの設定値	プリンターの各種設定値を保存します。以下の設定値を保存します。 <ul style="list-style-type: none">• 用紙節約の設定• 自動用紙カットの設定• 印刷制御の設定 (用紙幅、印刷速度、濃度など)• フォントの設定 (コードページ、国際文字セットの設定)• オプションブザーの設定

- 3 [保存] ボタンをクリックします。バックアップの確認メッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。

手順 2 で [登録済みロゴデータ] をチェックした場合	手順 4 へ進んでください。
手順 2 で [登録済みロゴデータ] をチェックしなかった場合	手順 5 へ進んでください。

- 4 “ロゴファイルの選択”画面が表示されます。最後に保存したロゴファイル名が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。
保存するファイルを変更したい場合、[参照] ボタンをクリックします。



- 5 次の画面が表示されます。ファイル名とバックアップ先を指定して保存します。

設定をプリンターに復元する

- 1 [設定の保存と復元] をクリックします。
2 [参照] ボタンをクリックし、復元する設定ファイルを指定します。



- 3 [復元] ボタンをクリックします。復元の確認メッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。
4 リストアが成功した場合、成功メッセージが表示されます。

自動復元の設定

自動復元の設定をします。

設定の保存と復元

保存

オプション

登録済みロゴデータ

プリンターの設定値

保存

復元

ファイル名:

参照

説明

PrinterData.datを復元する。
プリンターの設定値を復元する。
Logo Data/Printer Settings

復元

自動復元の設定

新しいプリンターに置き換わったときに、復元を自動で実行する

自動復元を実行する前に確認メッセージを表示する

実行結果を表示する

項目	説明
新しいプリンターに置き換わったときに、復元を自動で実行する	使用していたプリンターが故障して、新しいプリンターに交換したときに、以前にバックアップしていたファイルを利用して、自動的にプリンターの設定を復元します。
自動復元を実行する前に確認メッセージを表示する	自動復元を実行する前に、設定を復元するか確認のメッセージを表示します。
実行結果を表示する	自動復元を実行した場合、成功 / 失敗の結果を画面に表示します。

クーポン印刷

本章では、クーポン印刷の概要と、使い方を説明しています。

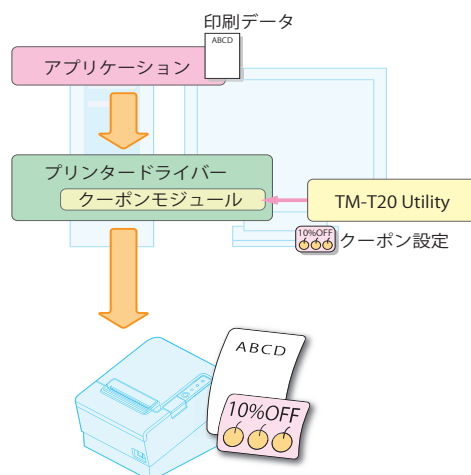
概要

TM-T20 Utility では、クーポン印刷機能を提供しています。お客様の POS アプリケーションを変更しないでクーポン印刷ができます。TM-T20 Utility でクーポンデータを登録し、印刷の最後にクーポンを印字します。

印刷の仕組み

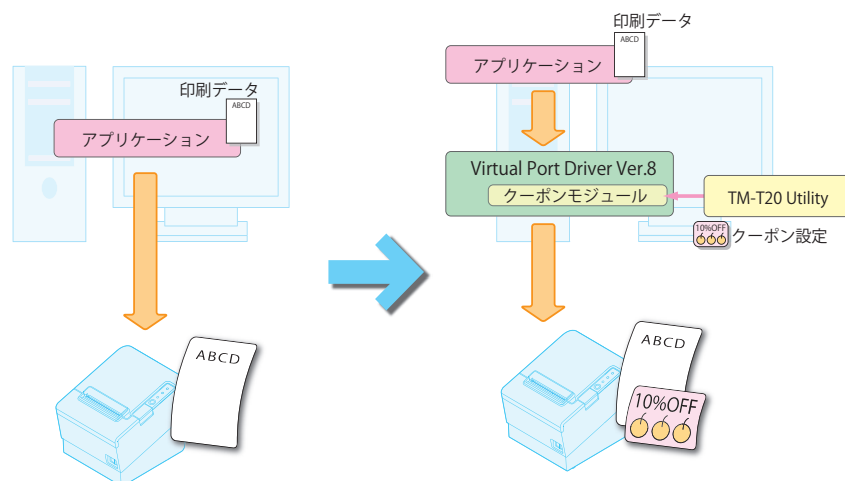
プリンタードライバーで印刷するアプリケーション

APD や UPOS などのプリンタードライバーで印刷するアプリケーションの場合、TM-T20 Utility をインストールすると、プリンタードライバーにクーポンモジュールをアドインします。TM-T20 Utility はクーポンモジュールに、クーポン画像と印刷方法を設定します。クーポンモジュールは、印刷データの後に設定されたクーポンを印刷します。

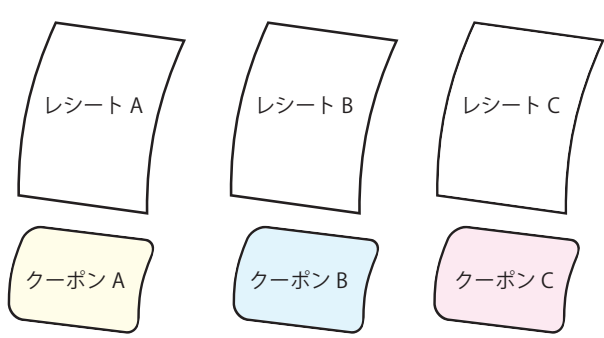
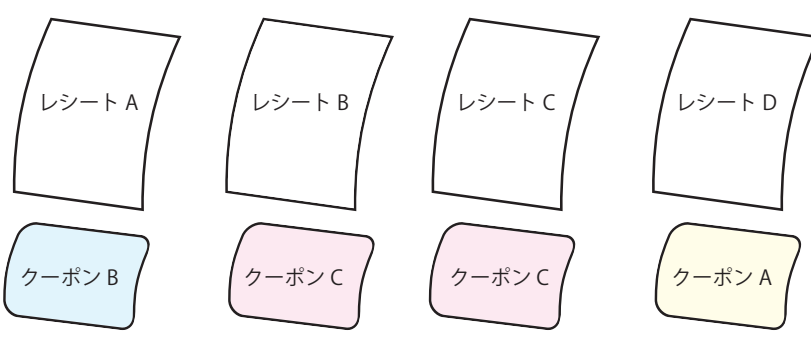
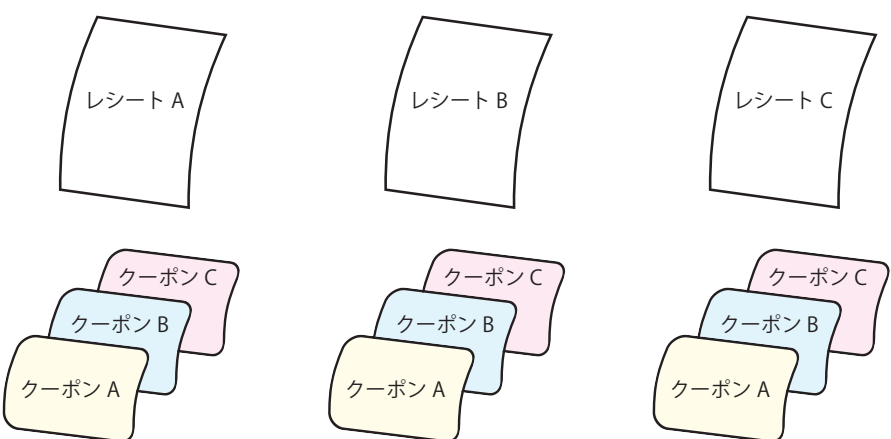


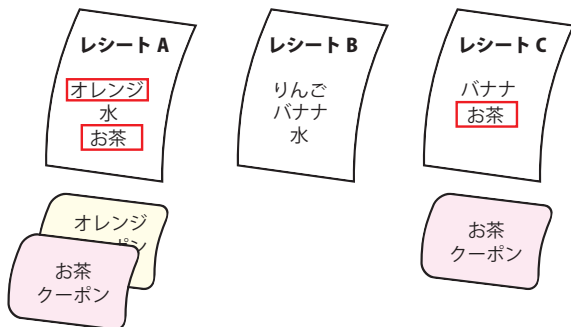
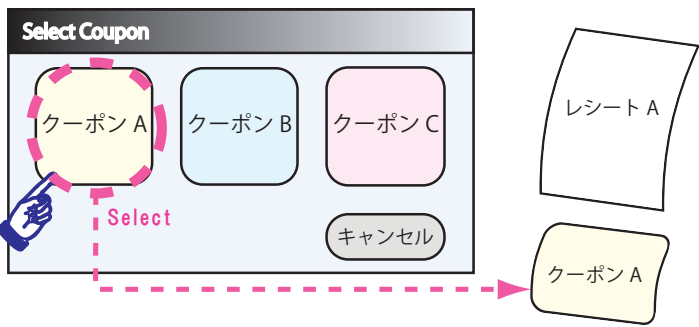
ESC/POS コマンドで印刷するアプリケーション

ESC/POS コマンドで印刷するアプリケーションの場合、Virtual Port Driver V8 と TM-T20 Utility をインストールします。印刷の仕組みは、上記と同じです。



クーポン印刷の方法

方法	説明
登録順	<p>登録した順番でクーポンを印刷します。</p>  <p>The diagram illustrates sequential printing. It shows three receipts labeled 'レシート A', 'レシート B', and 'レシート C' arranged horizontally. Below each receipt is a corresponding coupon: 'クーポン A' (yellow), 'クーポン B' (blue), and 'クーポン C' (pink).</p>
ランダム印刷	<p>登録したクーポンを、ランダムに印刷します。</p>  <p>The diagram illustrates random printing. It shows four receipts labeled 'レシート A', 'レシート B', 'レシート C', and 'レシート D' arranged horizontally. Below them are four coupons in a different order: 'クーポン B' (blue), 'クーポン C' (pink), 'クーポン C' (pink), and 'クーポン A' (yellow).</p>
全て印刷	<p>登録したクーポンを、すべて印刷します。</p>  <p>The diagram illustrates printing all coupons. It shows three receipts labeled 'レシート A', 'レシート B', and 'レシート C' arranged horizontally. Below each receipt is a stack of three coupons: 'クーポン A' (yellow), 'クーポン B' (blue), and 'クーポン C' (pink).</p>

方法	説明
キーワード一致	<p>印刷データに、あらかじめクーポン画像と紐付けしたテキストデータが含まれていると、クーポンを印刷します。印刷データにテキストが含まれていないと検索 / 印刷できません。</p>  <p>キーワード: オレンジ, お茶</p>
ポップアップ選択	<p>レシート印刷時にコンピューターの画面にポップアップウィンドウが開き、オペレーターがクーポンを選択します。ポップアップ選択の場合、コンピューターの表示画面にタッチパネルを用意することをお勧めします。</p> 

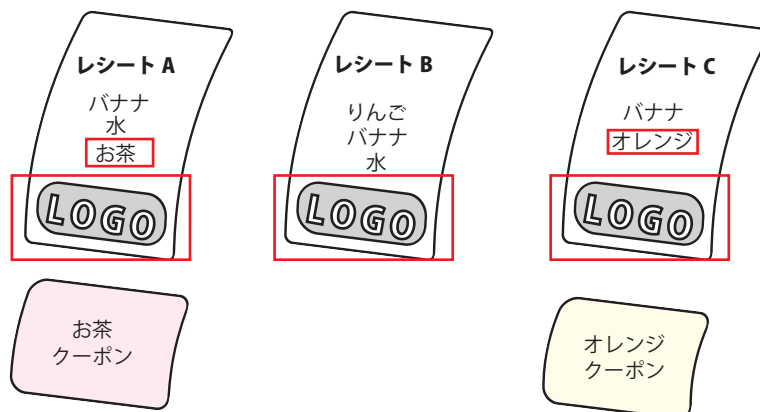
参考

キーワード検索は印刷データがデバイスフォントの場合のみ可能です。グラフィック（TrueType フォント、画像ファイルなど）は検索できません。

APD でキーワード一致したい場合、デバイスフォントを指定してください。また、アプリケーションによっては特殊な文字が含まれたキーワードでは一致しない場合があります。

オート カット 時のロゴ印刷

印刷データにクーポン画像をロゴ印刷して、クーポンにはロゴ印刷をしません。
ロゴファイルにキーワードを指定することで以下のように印刷することができます。



この例では、LOGO ファイルのキーワードに“BottomLogo”を設定しています。

以下のように設定してください。

1. 自動用紙カットの設定で [用紙カット時にロゴを印刷しない] に設定する。
2. ロゴ用のクーポン画像のキーワードに以下の設定をします。設定方法は、[51 ページ「クーポンの登録」](#)を参照してください。

キーワード	説明
TopLogo	印刷データの前にロゴを印刷します。
BottomLogo	印刷データの後にロゴを印刷します。

3. クーポンの印刷方法を指定します。
クーポン印刷は、どの方法と組み合わせても設定できます。

参考

キーワードに“TopLogo”を設定した場合、[用紙節約の設定]の“上余白の削減”は設定できません。
([28 ページ「用紙節約の設定」](#)を参照してください。)

クーポンデータ形式

- 画像ファイル (BMP, JPEG, PNG, GIF)
印刷されるサイズは、高さ 2047 ピクセルまでです。

環境

プリンタードライバー

- Advanced Printer Driver Ver.4.53 以降
- OPOS Ver.2.70 R2 以降
- OPOS for .NET Ver.1.12.2 以降

対応アプリケーション

- 上記のドライバーで印刷するアプリケーション
- ESC/POS コマンドで印刷するアプリケーション
(Virtual Port Driver Ver.8 以降を使用します。)

インターフェイス

- USB

セット アップ

クーポン機能を使用するには、クーポンに対応したプリンタードライバーおよび TM-T20Utility が必要です。ESC/POS コマンドで印刷するアプリケーションの場合、Virtual Port Driver Ver.8 以降が必要です。

プリンタードライバーで印刷するアプリケーションの場合

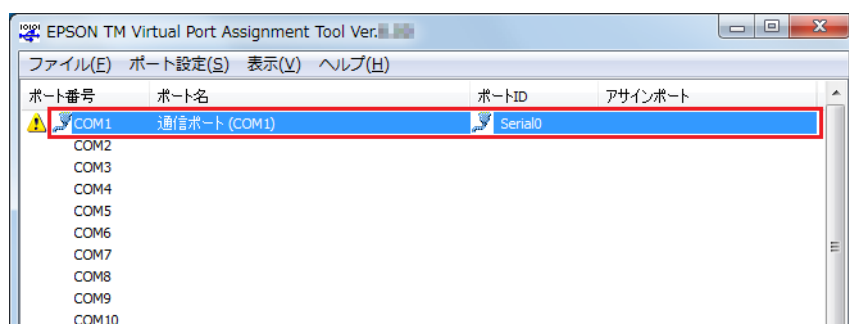
プリンタードライバーを利用している場合、クーポン機能に対応している最新のドライバーにアップデートしてください。

詳細は各ドライバーのマニュアル、および本書の [8 ページ「インストール」](#) を参照してください。

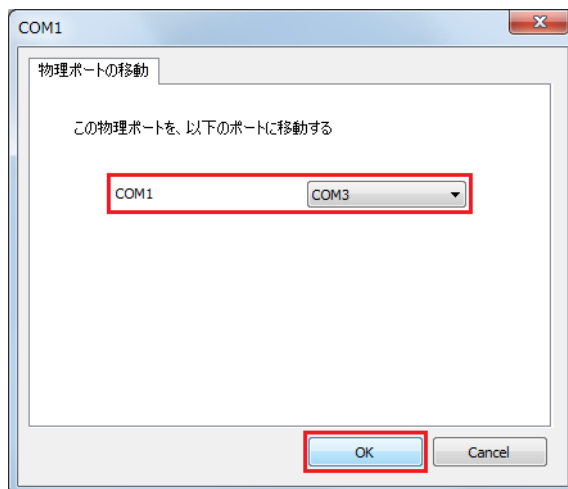
ESC/POS コマンドで印刷するアプリケーションの場合

ESC/POS コマンドで印刷するアプリケーションの場合、Virtual Port Driver Ver.8 をインストールし、ポートの設定をします。(Virtual Port Driver Ver.8 の詳細は、“TM Virtual Port Driver Ver.8 ユーザーズマニュアル”を参照してください。) 以下の手順で設定します。

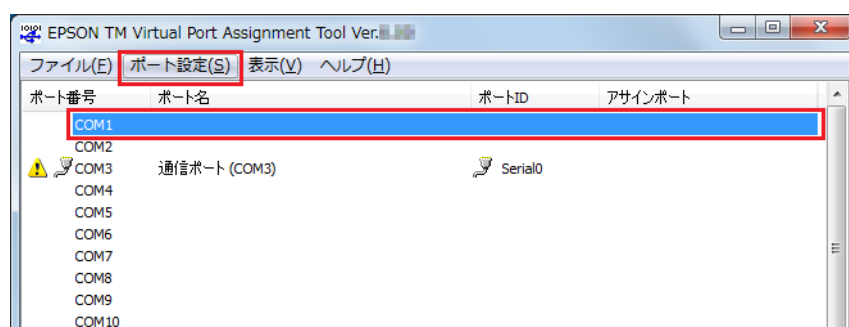
- 1 TM Virtual Port Driver Ver.8 をインストールします。
- 2 TM-T20 を接続し、電源を ON します。
- 3 Port Assignment Tool を起動します。
[スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM Virtual Port Driver] - [PortAssignment Tool] を選択します。
- 4 アプリケーションで使用するポートが既に通信ポート（物理ポート）で使用している場合、ポートを移動します。
アプリケーションで使用するポートが空いている場合は、手順 9 に進んでください。



- 5 ポートをダブルクリックすると、物理ポートの移動画面が表示されます。移動先のポートを設定し、[OK] ボタンをクリックします。ポートが移動します。



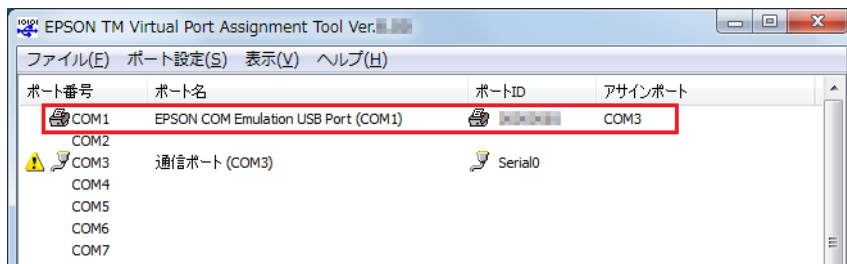
- 6 アプリケーションで使用するポートを選択します。[ポート設定] - [ポートの設定 (直接通信)] を選択します。



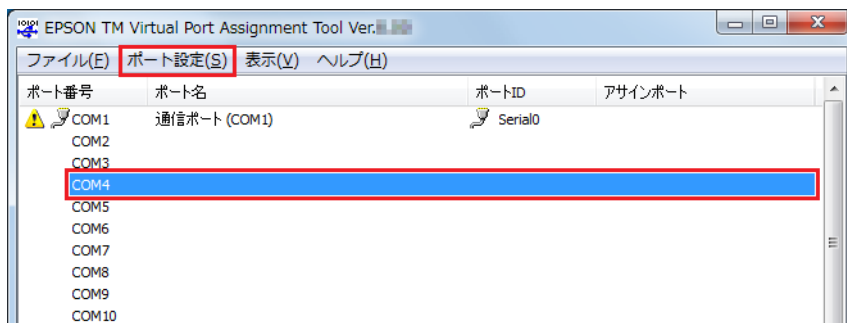
- 7 ポートの設定画面が表示されます。COM/LPT を選択し、移動した物理ポートを選択します。



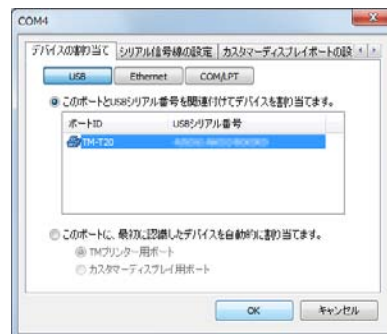
- 8 仮想ポートが設定されます。Port Assignment Tool を終了します。手順 12 に進みます。



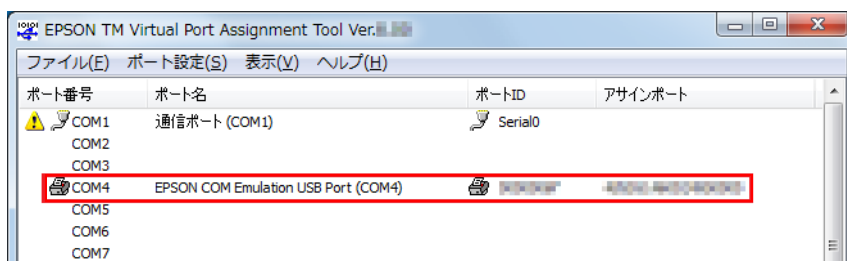
- 9 アプリケーションで使用するポートを選択します。[ポート設定] - [ポートの設定(直接通信)] を選択します。



- 10 ポートの設定画面が表示されます。“USB” を選択します。ポートを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

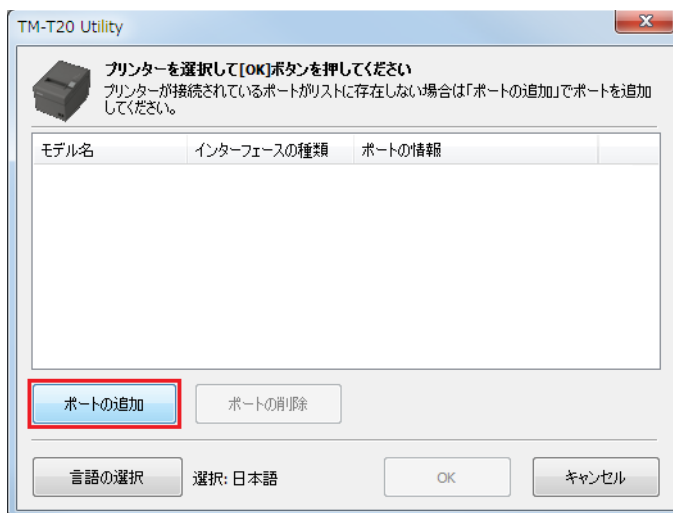


- 11 仮想ポートが設定されます。Port Assignment Tool を終了します。

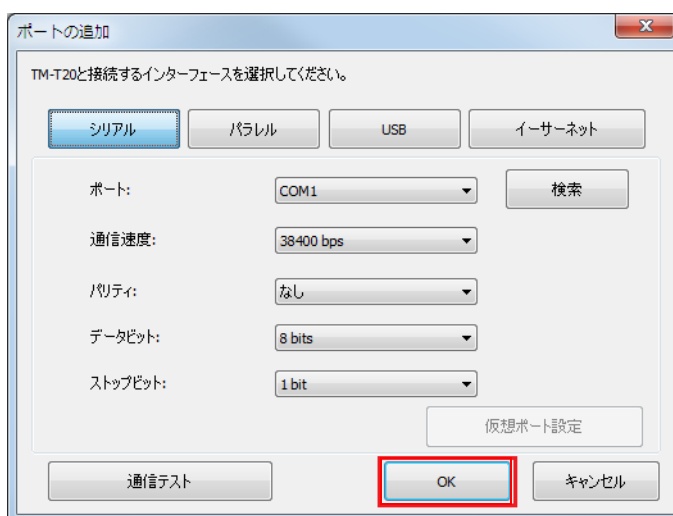


12 TM-T20 Utility をインストールし、TM-T20 Utility を起動します。

13 ポート選択の画面が表示されます。[ポートの追加] ボタンをクリックします。



14 ポート追加の画面が表示されます。Port Assignment Tool で設定した仮想ポートを追加します。ポートを設定し、[OK] ボタンをクリックします。
(例：COM1 を Port Assignment Tool で仮想ポートに設定した場合、COM1 を追加してください。USB を追加しないでください)



15 ポート選択の画面に戻ります。追加したポートを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

16 TM-T20 Utility の “ 現在の設定 ” の画面が表示されます。

クーポンの設定

TM-T20 Utility でクーポンデータを登録し、TM-T20 で印刷します。

注意

- あらかじめ、クーポンの画像を準備してください。
- バーコード・2次元シンボルをクーポンに印字する場合
 - * バーコード・2次元シンボル画像は黒色にしてください。
 - * クーポン画像のサイズを、縮小しなくても良いサイズにしてください。(51 ページを参照)
 - * バーコード・2次元シンボルの読み取りテストを行ってください。
- クーポンは 100 個まで登録できます。

[クーポンの設定]には、以下の機能があります。

設定	説明
このポートを有効にする	チェックされていると、クーポン印刷機能を有効にします。
追加	クーポンデータを追加します。
編集	選択したクーポンデータの、サイズや画質を編集します。
削除	選択したクーポンデータをリストから削除します。
テスト印刷	選択したクーポンを印刷します。
設定	クーポンデータを、クーポンモジュールに登録します。
オプション	クーポンの印刷設定をします。
選択方法	クーポンの印刷方法を設定します。
+1/-1	印刷頻度を指定します。回数の多いほうが、多く印刷されます。
上へ / 下へ	登録順で印刷するときの順番を指定します。
配置	クーポンの印刷レイアウトを指定します。

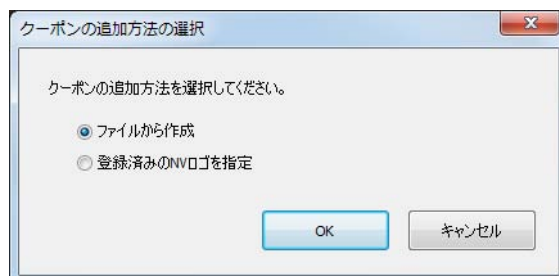
クーポンの登録

ここでは登録するクーポンデータを設定します。

1 [追加] をクリックします。



2 [クーポンの追加方法の選択] 画面が表示されます。クーポンの追加方法を指定し、[OK] をクリックします。



クーポンの追加には、以下の方法があります。

クーポンの追加方法	説明
ファイルから作成 (推奨)	画像ファイルを指定してクーポンデータを作成し、追加します。 手順 3(51 ページを参照)に進んでください。
登録済みの NV ロゴを指定	プリンターに登録された NV ロゴのキーコードを指定し、追加します。 手順 5(53 ページを参照)に進んでください。

3 クーポンに登録するイメージデータを指定します。

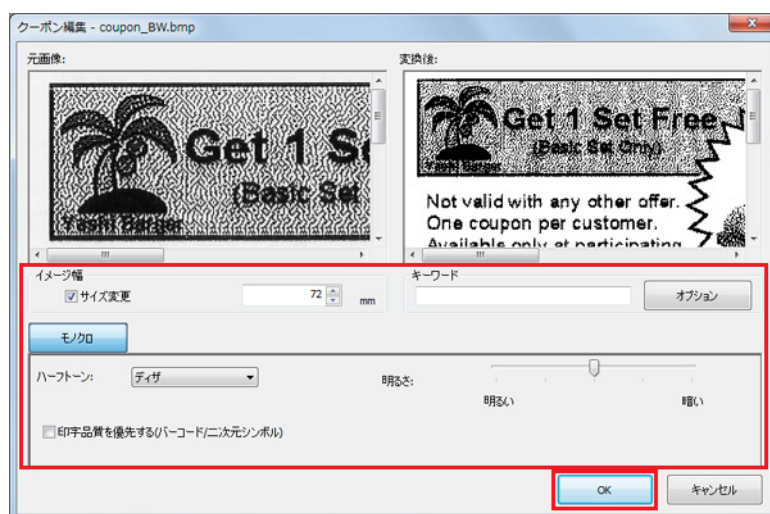
指定可能なファイルサイズは、高さ 2047 × 幅 576 ピクセル (ドット) 以下の bmp, jpeg, gif, png ファイルです。

プリンターの用紙幅の設定により、最大の用紙幅のピクセル数が変わります。

クーポンの幅が用紙幅を超える場合は用紙幅に収まるようにリサイズされます。

用紙幅 - 桁数	ピクセル
80mm - 48 桁	2047 x 576
80mm - 42 桁	2047 x 546
58mm - 42 桁	2047 x 378
58mm - 35 桁	2047 x 420

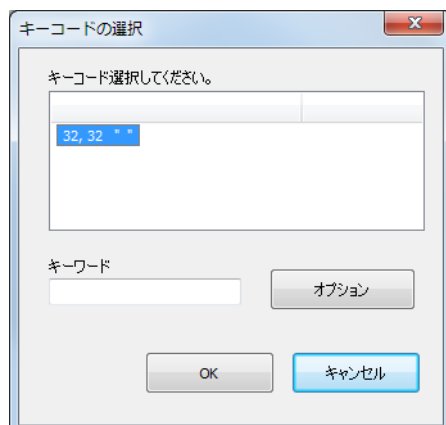
- 4 [クーポン編集]画面が表示されます。画面上部のプレビューを参照して、イメージデータを編集します。編集が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。手順 6(53 ページを参照)に進みます。



以下を設定します。

設定	説明
イメージ幅	サイズ変更をチェックして、画像の印刷幅を設定します。(単位: mm) サイズ変更をチェックしない場合、画像のサイズで印刷されます。画像が大きい場合、用紙幅を超える部分は印刷されません。
キーワード	クーポン画像にキーワードを設定します。 [クーポンの印刷方法]を[キーワード一致]にした場合、印刷データに、ここで設定したキーワードが含まれている時にクーポンを印刷します。
オプション	キーワード一致の条件に、[大文字小文字を区別する]/[単語の検索]を設定します。検索の詳細は、55 ページ「キーワード一致」を参照してください。
ハーフトーン	ハーフトーンの種類を、[ディザ]/[誤差拡散]/[なし]から選択します。
明るさ	明るさを設定します。
印字品質を優先する (バーコード/二次元シンボル)	バーコード/二次元シンボルが含まれるクーポン画像にチェックします。この設定をしたクーポン画像を印字するときは、印字速度が遅くなります。

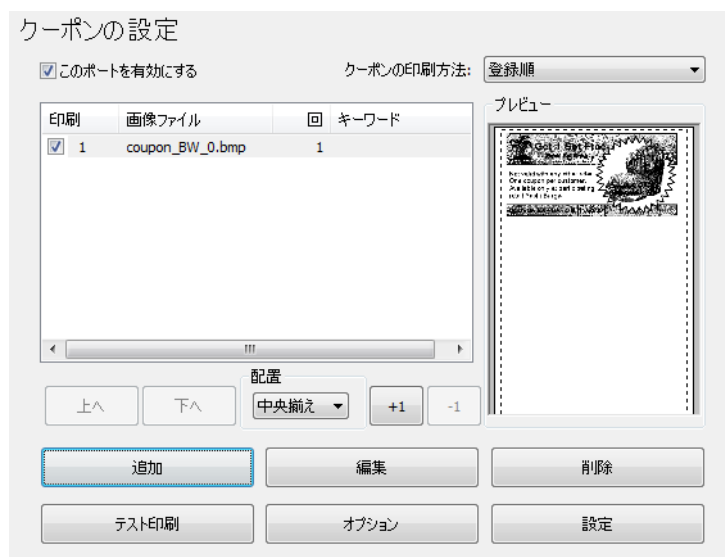
- 5 [キーコードの選択] 画面が表示されます。クーポンデータにする NV ロゴを選択し、[OK] ボタンをクリックします。手順 6(53 ページを参照)に進みます。



以下を設定します。

設定	説明
キーコード	クーポンデータにする NV ロゴのキーコードを選択します。
キーワード	NV ロゴにキーワードを設定します。 [クーポンの印刷方法]を[キーワード一致]にした場合、印刷データのテキストに、ここで設定したキーワードが含まれていたときにクーポンを印刷します。 ロゴとして印刷する場合は、以下のキーワードを設定します。 最初に印刷： TopLogo 最後に印刷： BottomLogo この設定をしたデータは、レシートの前か後にロゴが印刷されます。クーポンの前後には印刷されません。
オプション	キーワード一致の条件に、[大文字小文字を区別する]/[単語の検索]を設定します。

- 6 リストにクーポンデータが追加されます。
リスト左側のチェックを外すと、そのクーポンは印刷されません。登録したクーポンを選択すると、プレビューエリアで内容を確認できます。



- 7 配置で、印刷レイアウトを指定します。
- 8 複数のクーポンデータを登録する場合、手順 1～5 を繰り返します。
- 9 [設定] ボタンをクリックすると、クーポンがクーポンモジュールに登録されます。
- 10 登録が完了したら、「OK」ボタンを押します。



参考

TM-T20 Utility でクーポンデータを登録すると、クーポンモジュールが登録したクーポンデータをコンピューターに保存します。保存先は以下を参照してください。

- * Windows 8
C:¥ProgramData¥epson¥TM20VUtI¥
- * Windows 7/Vista
C:¥ProgramData¥EPSON¥TM20UtI¥
- * Windows XP/2000
C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥EPSON¥TM20UtI¥

クーポンの印刷方法の設定

[クーポンの印刷方法]で、クーポンを印刷する方法を選択します。

クーポンの設定

このポートを有効にする

クーポンの印刷方法: 登録順

印刷	画像ファイル	回	キーワード
<input checked="" type="checkbox"/> 1	coupon_lucky.bmp	1	
<input checked="" type="checkbox"/> 2	coupon_BW_0.bmp	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 3	delicious_BW_0.bmp	1	

プレビュー

配置

上へ 下へ 中央揃え +1 -1

追加 編集 削除

テスト印刷 オプション 設定

クーポンの印刷方法は以下のとおりです。(参考: [42 ページ](#))

選択	説明
登録順	リストの順番にクーポンを印刷します。
ランダム	登録したクーポンを、ランダムに印刷します。
全て印刷	登録したクーポンを、すべて印刷します。
キーワード一致	印刷データに、あらかじめクーポン画像と紐付けしたテキストデータが含まれていると、クーポンを印刷します。印刷データにテキストが含まれていない場合、検索 / 印刷できません。
ポップアップ選択	レシート印刷時にコンピューターの画面にポップアップウィンドウが開き、オペレーターがクーポンを選択します。

キーワード一致

キーワード一致では、クーポンデータごとに印刷するキーワードを設定し、印刷データのテキストにキーワードが含まれると、クーポンを印刷します。オプション設定で、検索条件を設定したり、印刷しないキーワードを登録したりできます。(56 ページ「オプション設定」を参照してください。)

印刷しないキーワード

ここで設定したキーワードが印刷データに含まれる場合は、他のクーポンで設定したキーワードが含まれていてもクーポンを印刷しません。

[クーポンの設定]-[オプション]で設定できます。詳細は、57 ページ「クーポン印刷の設定」を参照してください。

オプション設定

キーワード検索に以下の条件を付加できます。

設定	説明
大文字小文字を区別する	設定したキーワードを大文字 / 小文字を区別して検索します。 アルファベットの場合に有効な設定です。
単語の検索	設定したキーワードを単語で検索します。

キーワードの検索判断方法

以下は、オプション設定の設定をすべて有効にした場合の結果です。

キーワード	印字データ	検索結果	備考
りんご	りんご	○	
	りんご あめ	○	
	りんごあめ	×	[単語の検索]の設定を外した場合、検索されません。
Apple	Apple	○	
	apple	×	[大文字小文字を区別する]の設定を外した場合、検索されません。
	AppleCandy	×	[単語の検索]の設定を外した場合、検索されません。
	appleCandy	×	オプション設定をすべて外した場合、検索されません。
	Apple Candy	○	

設定の応用

100枚に1枚の割合で、当たりのクーポンを発行

- 1 当たりのクーポンと当たりでないクーポンを用意します。
- 2 クーポンの印刷方法から[ランダム]を選択し、当たりクーポンの回数を1に設定します。
- 3 当たりでないクーポンの回数を99に設定します。

購入合計金額が\$100から\$999の場合クーポンを発行

- 1 クーポンの印刷方法を[キーワード一致]を選択し、クーポンのキーワードを`Total_ _`\$(アンダーラインはスペース)、で設定します。
キーワード設定の[単語検索を有効にする]のチェックをはずします。

1行の印字桁数が15文字固定の場合

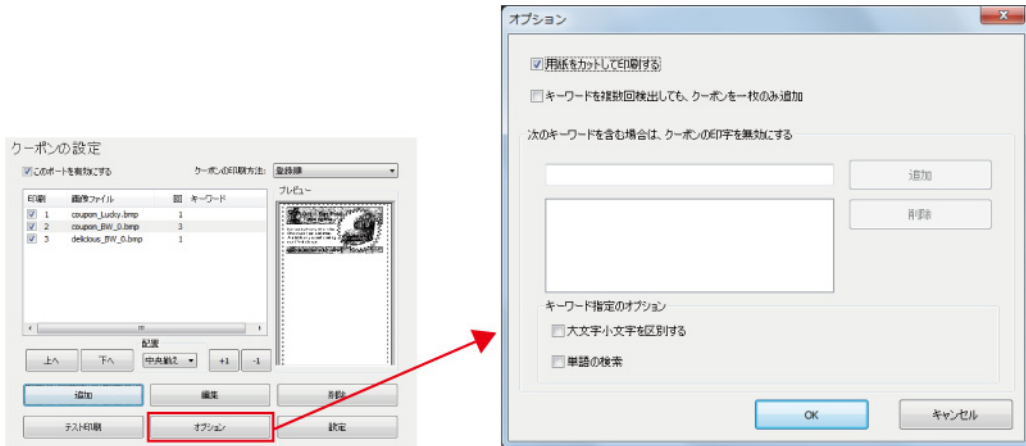
キーワード: Total: _ _ \$

印字結果: Total: _ _ \$100.00



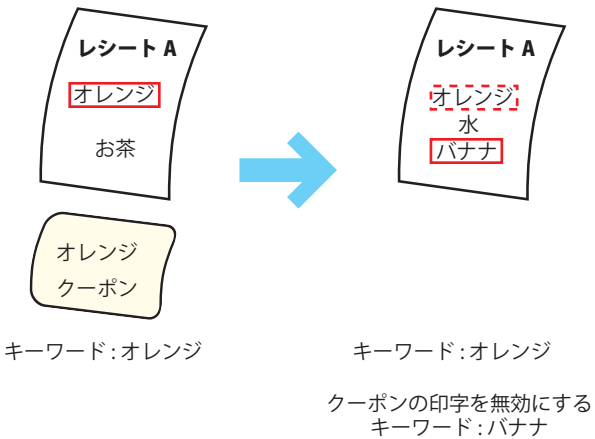
クーポン印刷の設定

[オプション]で、クーポン印刷の設定をします。



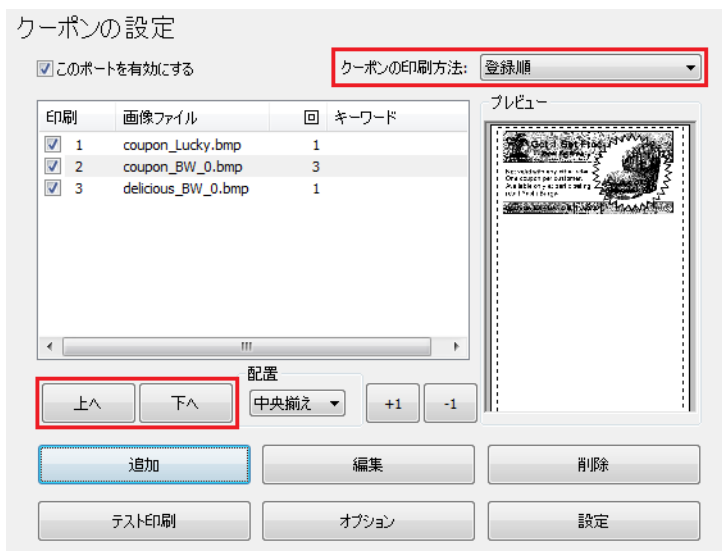
以下を設定します。

設定	説明
用紙をカットして印刷する	チェックすると、クーポンを印刷するごとにオートカットします。
キーワードを複数回検出しても、クーポンを一枚のみ追加	<p>チェックすると、印刷データにクーポンデータに紐付けしたキーワードが複数回検出されても、該当のクーポンは1枚のみ印刷されます。チェックされていない場合、該当のクーポンを、キーワードの検出回数の枚数印刷します。</p> <p>この設定は、[クーポンの印刷方法]が“キーワード一致”の場合のみ有効な設定です。</p> <div style="text-align: center;"> <p>キーワード:バナナ</p> <p>キーワード:バナナ</p> </div>

設定	説明
次のキーワードを含む場合は、クーポンの印字を無効にする	<p>クーポン印刷を無効にするキーワードを設定します。</p> <p>印刷データのテキストに、この設定で設定したキーワードが含まれていた場合、キーワードで一致したクーポンがあったとしてもクーポンは印刷されません。キーワードは 100 個設定できます。</p>  <p>キーワード: オレンジ</p> <p>キーワード: オレンジ</p> <p>クーポンの印字を無効にする キーワード: バナナ</p>
キーワード指定のオプション	[次のキーワードを含む場合は、クーポンの印字を無効にする] 設定のキーワード一致の条件に、[大文字小文字を区別する] / [単語の検索] を設定します。検索の詳細は、55 ページ「キーワード一致」を参照してください。

印刷順番の指定

[クーポンの印刷方法] が “登録順” の場合、リストの番号順に印刷します。



クーポンを選択して、[上へ]/[下へ] ボタンをクリックすると、順番を入れ替えることができます。

印刷頻度の指定

[クーポンの印刷方法]が“登録順”または“ランダム”の場合、クーポンを印刷する頻度を指定します。

クーポンの設定

このポートを有効にする

クーポンの印刷方法: 登録順

印刷	画像ファイル	回	キーワード
<input checked="" type="checkbox"/>	1 coupon_Lucky.bmp	1	
<input checked="" type="checkbox"/>	2 coupon_BW_0.bmp	3	
<input checked="" type="checkbox"/>	3 delicious_BW_0.bmp	1	

プレビュー

配置

上へ 下へ 中央揃え +1 -1

追加 編集 削除

テスト印刷 オプション 設定

クーポンを選択して、「+1」/「-1」ボタンをクリックすると、回数が増減します。

- [クーポンの印刷方法]が“登録順”の場合：指定された回数、同じクーポンを続けて印刷します。
例えば No.2 のクーポンの回数が 3 で他のクーポンの回数が 1 の場合、No.1 → No.2 → No.2 → No.2 → No.3 の順番で印刷します。
- [クーポンの印刷方法]が“ランダム”の場合：印刷頻度を加味してランダムに印刷します。
例えば No.2 のクーポンの回数が 3 で他のクーポンの回数が 1 の場合、No.2 は他のクーポンよりも 3 倍多く印刷します。

Coupon Generatorでクーポンを登録

本ユーティリティのインストール時に Coupon Generator をインストールすると、[デバイスとプリンター] に EPSON Coupon Generator (TM-T20) が追加されます。

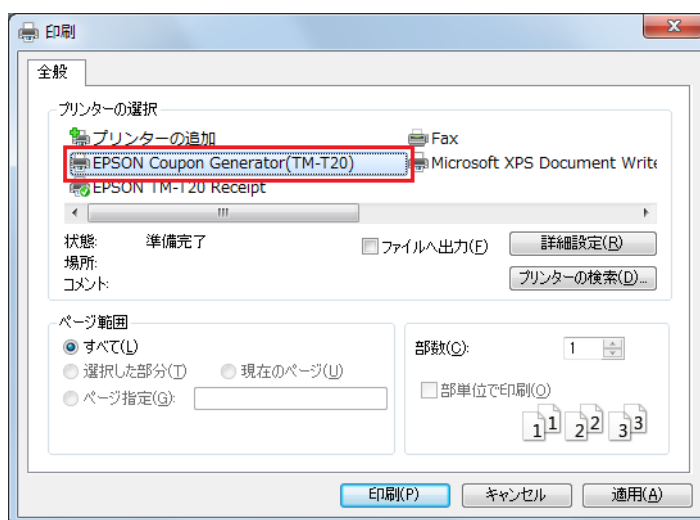
Coupon Generator を使用すると、画像編集ソフトで作成したクーポンを直接登録できます。

注意

- 本ユーティリティのインストール時に Coupon Generator をインストールしなかった場合は、再度本ユーティリティをインストールしてください。
- 本ユーティリティを CD からインストールした場合は、「カスタムインストール」から EPSON Coupon Generator をインストールしてください。

以下の手順で作成します。

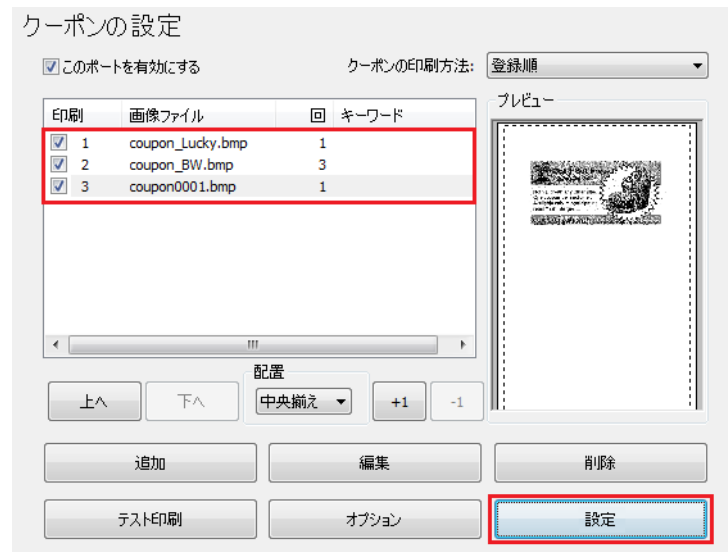
- 1** コンピューターに TM-T20 Utility がインストールされていることを確認します。
TM-T20 Utility が起動している場合、終了します。
- 2** 画像編集ソフトを使って、クーポンデータを作成します。
- 3** 画像編集ソフトからクーポンデータを印刷します。
印刷ダイアログの“EPSON Coupon Generator(TM-T20)”を選択し、[印刷] をクリックします。



参考

この時、TM-T20 Utility が起動していないことを確認してください。

- 4 TM-T20 Utility が起動し、画像編集ソフトで作成したクーポンが表示されます。
[設定] ボタンをクリックし、クーポンをプリンターモジュールに登録します。



- 5 登録が完了したら、「OK」ボタンを押します。

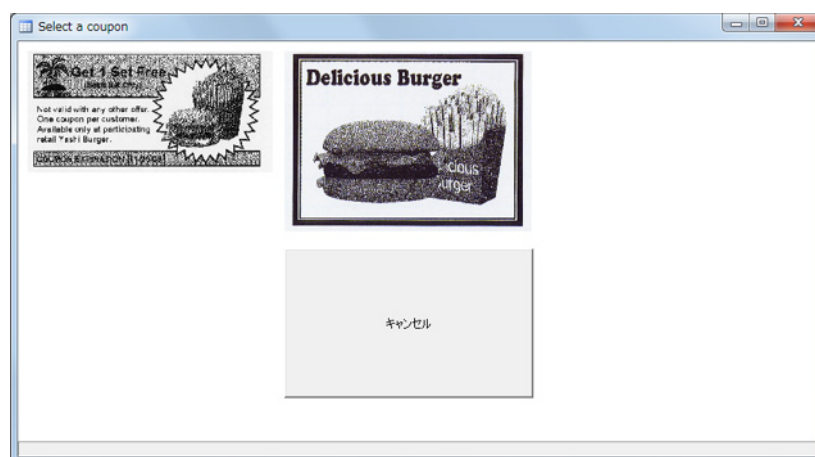
クーポンの印刷

ポップアップ選択で印刷する場合

[クーポンの印刷方法]を「ポップアップ選択」に設定した場合、アプリケーションから印刷すると、クーポン選択画面が表示されます。画面からクーポンを選択すると、データ印刷の最後に、クーポンが印字されます。

クーポンを印刷しない場合は、[キャンセル]をクリックします。

オプション画面(63ページ「ポップアップ選択の設定」)で[クーポンが選択されなかったら自動的に画面を閉じる]をチェックすると、ポップアップ画面が表示された後、指定した時間が経過すると画面が閉じてデータが印刷がされます。クーポンは印刷されません。

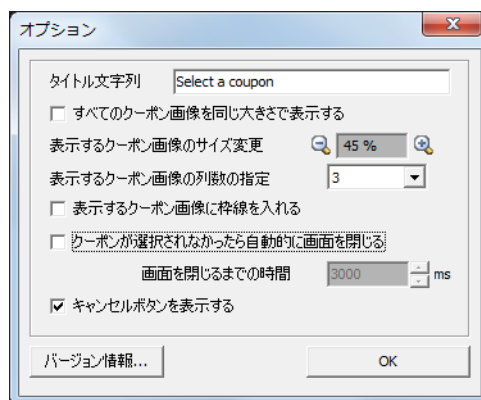


参考

ポップアップ画面で表示できるクーポン画像は、100枚までです。

ポップアップ選択の設定

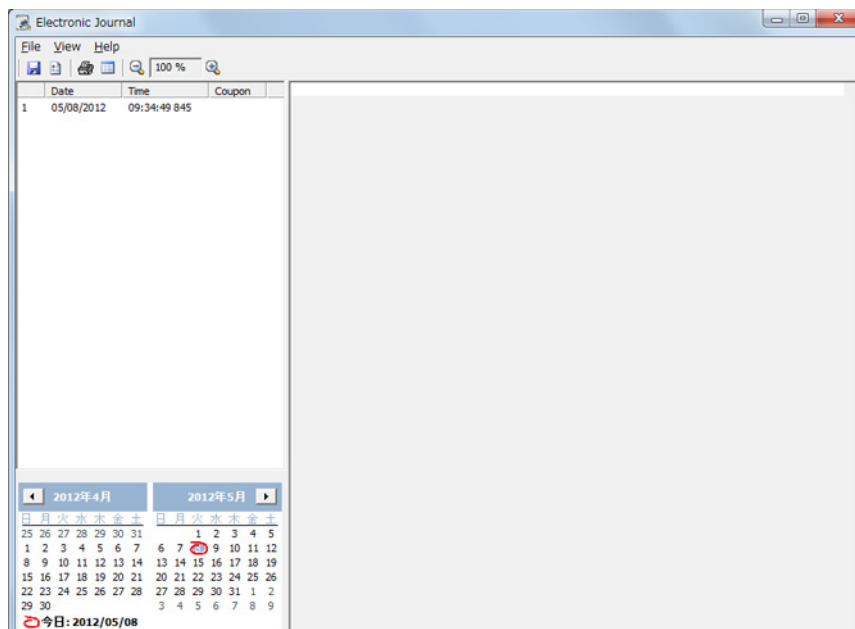
[クーポンの印刷方法]を、「ポップアップ選択」に設定すると、タスクトレイに「クーポンの選択」のアイコンが追加されます。そのアイコンを右クリックし、[オプション]を選択すると「ポップアップ選択」の設定が行えます。



設定	説明
タイトル文字列	クーポン選択画面のタイトル文字列を指定します。
すべてのクーポン画像を同じ大きさで表示する	チェックすると、表示される全てのクーポンを、同じサイズで表示します。
表示するクーポン画像のサイズ変更	[-]/[+]で、クーポン選択画面に表示される、クーポン画像の縮尺を指定します。
表示するクーポン画像の列数の指定	クーポン選択画面に表示される、クーポン画像の列数を指定します。
表示するクーポン画像に枠線を入れる	チェックすると、選択するクーポン画像の淵に枠線が表示されます。
クーポンが選択されなかったら自動的に画面を閉じる	チェックすると、クーポン選択画面でクーポン画像を選択しなかった場合、自動的にクーポン選択画面が閉じます。
画面を閉じるまでの時間	自動的にクーポン選択画面が閉じるまでの時間(100～30000 ms)を指定します。[クーポンが選択されなかったら自動的に画面を閉じる]がチェックされている場合に設定できます。
キャンセルボタンを表示する	チェックすると、クーポン選択画面に[キャンセル]ボタンが表示されます。
バージョン情報	オプションのバージョン情報が表示されます。

印刷結果の確認

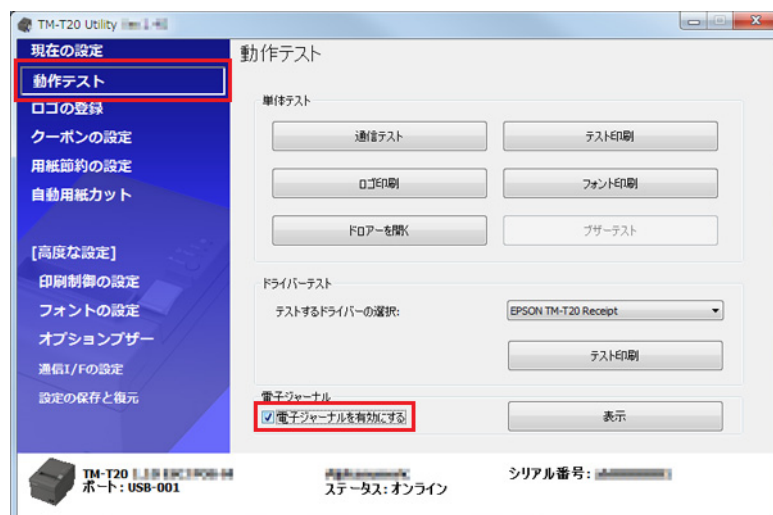
クーポンの印刷結果は、TM-T20 Utility の電子ジャーナルで確認できます。
電子ジャーナルは、[動作テスト]-[電子ジャーナル]-[表示]で表示されます。



設定

電子ジャーナルは、以下の設定で有効になります。

[動作テスト]-[電子ジャーナル]-[電子ジャーナルを有効にする]をチェックします。



FAQ

印刷できない

TM-T20 Utility を終了してください。TM-T20 Utility が起動していると印刷できません。

クーポンを印刷できない

以下の設定を確認してください。

- 設定したクーポン画像のリスト
チェックされていない場合、チェックしてから再度設定してください。
 - [このポートを有効にする]
チェックされていない場合、チェックしてから再度設定してください。
-

設定したキーワードでクーポンが印刷できない

以下の設定を確認してください。

- キーワード設定以外で印刷できるか確認してください。
- キーワードの設定をもう一度確認してください。
- APD を使用しているアプリケーションの場合、以下を確認してください。
 - フォントをデバイスフォントにして、指定されたサイズに変更します。
 - アプリケーションでデバイスフォントを指定できない場合、APD5の高度の設定で、フォント置き換えをします。以下の手順で行います。
 1. APD5 Utility の、[フォントの置き換え]-[TrueType フォントの置き換え] を選択します。
 2. [置き換える TrueType Font] に、アプリケーションで使用しているフォントを指定します。
 3. [デバイスフォント] から、デバイスフォントを選択します。デバイスフォントを選択すると、フォントサイズにポイントが指定されます。アプリケーションで印刷するサイズに近いサイズのデバイスフォントを選択してください。
 4. 実際に印刷して、キーワード検索できるかどうかを確認してください。アプリケーションで印刷するサイズとデバイスフォントのサイズが違くと、印刷できないことがあります。

クーポン設定を他のコンピューターにコピーしたい

以下の手順で他のコンピューターにコピーしてください。

- 1 クーポン対応ドライバーまたは、Virtual Port Driver Ver.8 以降をインストールして設定します。
- 2 コピー元のコンピューターのクーポンデータおよび設定ファイルを、コピーします。
クーポンデータおよび設定ファイルの保存先
Windows 8
C:¥ProgramData¥epson¥TM20Ut¥
(Windows8 では、Program フォルダは隠しフォルダになっています。)
Windows 7 / Vista
C:¥ProgramData¥EPSON¥TM20Ut¥
Windows XP / 2000
C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥EPSON¥TM20Ut¥
- 3 コピー先のコンピューターに、クーポンデータおよび設定ファイルを保存します。
コピー元のコンピューターと同じ位置に、クーポンデータおよび設定ファイルを保存してください。

UPOS ドライバーで、クーポン画像をカットしてしまう

お客様のアプリケーションの設定を、以下のようにしてください。

- UPOS ドライバーの用紙カットの方法： エスケープシーケンスの “Feed and Paper cut”

Acknowledgements

"TM-T20 Utility" incorporate compression code from the Info-ZIP group.

This is version 2009-Jan-02 of the Info-ZIP license. The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2009 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals: Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. Additional documentation is not needed for executables where a command line license option provides these and a note regarding this option is in the executable's startup banner. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP" "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

